京城日報

(朝夕刊合せて十頁)

本紙定價 毎號壹部金參錢▲壹ケ月郵稅共前金一圓▲參ケ月同▲六ケ月同 ▲郵券代用一割增
廣告料金 普通五號活字詰一行▲特別同▲二號▲四號活字割增

發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話光化門二番 長四二番 振替京城三〇〇番

納刊辭

(京城日報)

歳末…日になつた、本紙は例によつて此三十日附夕刊を以て本年の納刊とし、後一日を新年號の準備に充つることにした。

茲に於て過ぎし一年間を顧みるに、實に繁多なる歳ではあつた、外交問題との修交は、表面極めて親善であるけれども、それは決して純然たるものではなかつた、米國の軍備充實に腐心せるは、其形式は兎もあれ、其眞意に於ては華府會議の協定を恪守するものとは謂へない、而も其軍備充實の目標が那邊に在るかを想察する時、彼我の友好關係は、種々幾多の條件に依つて辛うじて維持されたのであつた、殊に執拗なる我移民排斥の如きは、瞑して何事を語るものであるか、我國民は決して其解釋に苦しまぬであらう、彼の英國の重厚を以て尚新嘉坡に海軍根據地建設の計畫を進めつゝあるが如き夫れは日英同盟の廢棄と共に、英國の我に對する好意を表現する一方法なのである、斯る事情も亦我國をして一入の繁忙を感ぜしむるものであつた、更に又、隣邦支那の存在も我國民の無關心を許さないのであつた、若夫れ支那に至つては、次ぎから次ぎに變亂相重り種々の問題を提供し、殆ど應接に遑なからしめたのであつた

之を内にしては、引續く財界の不況に伴ふ數々の出來事、思想の不安定より來る幾多の問題等は一々列擧することも出來ない程であるが、其は姑く措き關東の震火災は我國有史以來未曾有の大天災たるのみならず之が爲め恐らくは我文化史に一紀元を劃するであらうとさへ思はるゝのである、臨時議會の協賛を經たる復興計畫は、是より着々實施せらるゝであらうが、夫が我國の文化に與ふる影響の、就中奈何にもせよ多大なるべきは國民の今にして覺悟せねばならぬことである

最後に國民の恥辱として口惜しくも心外なるは虎ノ門に於ける不敬事件である、不敬漢の悖逆は言語同斷、神人の共に怒り惡む處であるが、其責任は單に之を政府にのみ歸する譯には行くまい、吾人は在野の政客も、學者も、教育家も、實業家も、勞働者も、男も女も、否七千萬國民が總て其責を分かたなければならぬことゝ信ずるものである、何となれば、社會は彼の不敬漢を包容し、其存在を其日其時迄容したからである、内外事象は、之れは現代の世相とて、誠に已むを得ざることであつて、如何に多難と雖も、我國家の前途に、榮光赫奕たるは國民一樣の信念である、其信念は國體に對する信念であるのである、然るに七千萬民中唯一人たりとも此信念を裏切る者を出したるは、我國の恥辱にあらずして何ぞ、大正の御代に於ける我等國民は、罪を祖先に負ふものである、されど過去を追ふも益なし、來ん年こそは國民一致協力して、誓ひて先此の國辱を雪ぐべく、而して内を固めて外に對せねばならぬ、然らば外事如何に滋しくとも深く憂ふるの要はあるまい、茲に納刊に際し、蕪辭を連ねて以て江湖に愬ふと云爾

…は斷然辭職する
陛下の有難き御言葉
あつたが事件が絶對的であるからと
沼津より歸りし後藤內相語る

【東京電報】…に關し陛下に恐懼を伏奏した後藤內相は二十八日午後四時三十八分沼津驛發にて歸京した『今回の事件は眞に恐懼に堪へない本日御用邸に伺候したのは同事件に付き伏奏の爲めで首相が出られなかつたので自分が全閣員を代表して伺候したのである 兩陛下からは種々有難き御言葉があつたが今回の事は政治上の事とは違ひ絶對的のもので內閣がこの際留任する樣な事はしない、何れ何分の御沙汰があると思つてゐる議會は今日から休會となつたから其間に後繼內閣が組織されること丶思ふ』

各閣僚の色別
首相は留任論者らしいが
大半は辭職したい意嚮

【東京電報】攝政宮より首相の辭表捧出に對し其儀に及ばずとの有難き優諚が降下した事は別項の如くであるが內閣は果して那邊に落付くか各閣僚の色別は左の如し

▲犬養遞相、革新倶樂部から種々進言あるも斷然辭職說
▲後藤內相絶對辭職
▲田中陸相警備上の責を帶びて辭職說
▲平沼法相、井上藏相、岡野文相何れも辭職說
▲山之內鐵相、伊集院外相、財部海相は首相の意嚮次第
して首相は依然留任したい意嚮らしいが思ふ通りの留任が出來るか否か疑問とされてゐる

犬養氏の覺悟は當然
今回のは幸德事件以上に大事件
小久保政友總務談

【東京電報】政友會總務小久保喜七氏は語る『犬養遞相は廿七日の不敬事件に付いては之は勿論內閣全體の連帶責任であると云つたさうであるが曾て幸德事件が發覺した時同時代が幸ひ未然に之を防止し得たものであるにも拘らず犬養氏は斯かる重大事件を惹起したのは政府は勿論其責に任ずべきものであつて桂內閣は當然辭職を爲すべきものであるとの見地から明治四十二年二月十一日衆議院に決議案を提出した然るに今回は夫れ以上の大事件が出來したのであるから犬養氏も立派な覺悟がありさうに信ぜられる』云々

今回の事件を政爭の具に
供せんとする各政黨の態度を悲む

【東京支局特電】政府某大官は語つて曰く『今回の不敬事件につき政府は恐懼して其の責任の重大なるに顧み目下辭表捧呈中だからこのことに就き彼れ之れ意見がましき事は避けたいが然し聞く處では貴族院や衆議院の各政黨關係が此事件を捕へて政爭の具に供するもの丶如き狀態を呈し來たつた事は極めて採らざる處である、此の問題は全く政爭の上に超越した重大なる問題だから國民と共に冷靜なる態度を以て愼重に考慮した上に決すべきものだ、今は謹愼中だし何分の御沙汰あり次第に決すべきもので徒らに皮相の見解に捕はれ政爭の具に供するが如きは斷じて採らない處である』云々

後任內相に適任者を得れば
內閣は一息吐ける
次の難關は普選問題だが實現は困難で結局犬養遞相は辭職か

【東京電報】今回の一大不敬事件に關し山本首相以下閣員全部が辭表を捧呈せるは既報の如くであるが結局當面の責任者として後藤內相一人のみ辭表聽許となるべく又後藤子としても此優諚に依りて居据るとするも政友會との關係通常議會に於ては必ず不信任の提出に依りて排斥せざる可からざることゝなるであらう然らば山本內閣の諸君如何と言ふに問題は後藤子の後任として內相の適任者を得るか否かに依りて決するのである難ら總選擧を控へたる內相として十分の手腕あり聲望ある人材を得るに至れば山本首相も更に勇を鼓し

閣員の辭表提出に對し
其の儀に及ばず
との優詔攝政宮より降下

【東京至急電報】首相は廿九日午前十一時四十五分參內攝政殿下に拜謁辭表提出に對し『其儀に及ばず』との有難き優詔を拜し退出後善後策に就き緊急閣議を開いた

閣員全部留任に決定

【東京至急電報】內閣は閣議の結果全部留任に決し後藤內相は機を見て病氣の名目で辭職すると

拓殖經濟調査
山本內閣の方針

拓殖經濟調査會は前內閣當時設立され諸問案が特別委員に附託となつた儘內閣更迭に引續き大震災突發のために審議の進行を見ずして今日に及んだが現內閣は該調査會に對して前內閣とは別個の意嚮を有する如くなるも諸問案に就ては何とか結果を付くる必要があるので二十六日午後幹事會を開いて協議する所があつた其結果明年一月特別委員會を開いて答申案に就き審議する事に決定したが總會を開くや否やは目下の所未定で或は都合により總會は開會せずして特別委員會にて決定せる案を會長まで送附するだけにし年度代りと共に調査會を廢止する事になるかも知れぬと云ふ現に鮮銀移管問題の如きは調査會の議題と關聯し特別委員會にては滿洲に於ける中央金融機關一方策として鮮銀の改善に就て調査しつゝあるに拘らず之を無視して大藏省並に朝鮮總督府の間に交渉決定し同拓殖事務局長も移管を承認せる如きは遂に調査會の消息を語るものである(東京)

十三年度總督府豫算
總額一億四千百五十八萬餘圓
大正十三年度朝鮮總督府豫算次の如く決定す

【東京電報】

第一、歳入歳出豫算總額

歳入經常部	一〇二、六二三、八四四圓	前年度に比し增	二、七〇九、五五六圓
同 臨時部	三八、九六一、九六七圓	減	七、一三〇、九七〇圓
計	一四一、五八五、八一一圓	減	四、四二一、四一四圓
歳出經常部	一〇五、五九三、四六七圓	增	三、五三三、一一九圓
同 臨時部	三五、九九三、三四四圓	減	七、九五三、五三[illegible]圓
計	一四一、五八五、八一一圓	減	四、四二一、四一四圓

第二、大正十三年度歳入豫算の前年度豫算に對する增減に付き重なるもの左の如し

一、租稅の自然增收	一四、二四六、二一[illegible]圓
一、事業繰延に伴ふ公債支辨金の減額	一、〇〇〇、〇〇〇圓
一、葉刻煙草創製の爲め專賣收入の增收	三、二七八、五九〇圓
一、通信電話料等の增收	七一八、七七〇圓
一、土地建物拂下代增收	一、四一二、三五六圓
一、補充金の增額	二、八四二、四七九圓

第三、大正十三年度歳出豫算新規施設に關するもの及び前年度豫算に對し增減を要する事項金額の重なるもの左の如し

一、中等學校新設及び既設官公立諸學校學級增加の經費增額	一七、五六〇圓
一、大學改築及び大學豫科新設に關する經費	三七四、一六〇圓
一、既設普通學校年限延長に伴ふ建築費其他教育補助の經費增額	二七九、二二〇圓
一、官立學校營繕費の減額	七六七、五一五圓
一、產業に關する經費の增額	六四三、一八五圓
一、財務機關特設に關する經費增額	九九五、六六八圓
一、交通及び通信に關する經費增額	三七四、四〇五圓
一、新義州附近河川整理及び石岩灣海陸連絡設備工事費の額	三七〇、〇〇〇圓
一、水害復舊經費增額	一、二一七、五六九圓
一、專賣事業費增額	一、〇二八、〇六七圓
一、在外朝鮮人に對する施設經費增額	一、一六一、六六九圓

第四、(減)

一、事業費繰延に依る	九七二、八三〇圓
一、遞信電話整備費	二七五、三七〇圓
一、道路修築改良及び砂防事業費	一、四九九、一六六圓
一、海關工事費	七、〇三六、六五六圓
一、鐵道建設改良費	五、〇〇〇、〇〇〇圓
一、驛田擴張費	二三三、一七七圓
一、煙草專賣創業費(打切り)	五三一、三八一圓
一、京城裁判所廳舍及び醫院新營費	八二[illegible]三五圓
一、臨急治水工事費	二〇〇、〇〇〇圓

醫院及濟生院特別豫算

總督府醫院及び濟生院特別會計豫算次の如し

第一、歳入歳出豫算總額

歳入經常部	三、〇二〇、九八〇圓	前年に比し 一〇九、九三三圓增
臨時部	三、六〇九圓	(前年同)
計	三、〇二四、五八九圓	一〇九、九三三圓增
歳出經常部	三、〇二五、四六九圓	前年に比し 一〇九、九三三圓增
臨時部	一八、一二〇圓	(前年同)
計	三、〇四三、五八九圓	前年に比し 一〇九、九三三圓增

鮮銀移管と內容整理
關係筋意見一致、具體的成案內定

【東京電報】朝鮮銀行を大藏省の管轄に移すの件は多年政府方面に議されてゐたが政府もその必要を感じ屢々朝鮮總督府と交渉を重ねてゐたが然し何樣多年紛糾し來れる制度を一朝にして變更すべきでないとの朝鮮總督府の反對のため移管問題は容易にその實現を見るに至らなかつたが現在の管轄制度をそのまゝに存續し朝鮮銀行を束縛してゐれば滿鮮金融の改善を圖ること望まれぬことゝなる、それで今回總督府の諒解を得てこれを解決せんとする政府の態度も定まり遂にいよいよ朝鮮銀行の移管に關する關係條例改正案を當議會に提出するに決定した譯である、右移管案の內容は朝鮮內に於ける銀行業務の監督を總督府の管轄としその他一般業務例へば鮮銀の存立に關する事項滿洲、朝鮮內地にまたがる貸付等に附する業務その他對外貸付等に附する監督を大藏省の管轄に移す筈である、また鮮銀の關東廳の管內に屬する業務の監督は法律上大藏省の管轄とするが事實はこれまで關東廳が實行し來つて居る慣例を尊重し大藏省移管後においても同樣の處置を取る方針である、かやうにして朝鮮銀行の移管問題は漸く解決を見るに至つた機會なるがさて朝鮮銀行の改正後の朝鮮銀行を如何にして改善するやの問題が同行當局を始め政府並に日銀當局においても有力となり結局同行の將來の發展は從來の姑息な整理を以て滿足せず思ひ切つて回收の不能なる貸出を資產項目より除き配當の如きも確實に純益金の範圍內において行ふと共に日銀において相當の援助をなすが至當であると云ふに一致しこの方針で著々整理を進め目下略その成案を得た、從つて多分來年二月の株主總會には右整理案の提出を見るに至るであらうと

總監歸期
廿八日夜東京發

【東京電報】有吉政務總監は中村秘書官を帶同し二十八日夜東京驛發歸任したるを以て三十日夜京城着の筈

農商局の新設は
緊縮どころか却て擴張的で
到底實現は覺束ない

【東京電報】明年度朝鮮總督府特別會計豫算は別項の如く廿八日を以て決定したが右豫算面に依れば明年度より勅任官として本府局長一名稅務監督局長一名大學教授一名增設に決定した右の內稅務監督局長は五名の勅任を計上要求したのであるが行政整理、財政緊縮の折柄一名を新設したものである獨立上の外事課長中一名の勅任を計上したのであつたが之は削除された而して本府局長(勅任)一名の新設は明年度より殖產局の改造を行ひ農商を合併獨立して農商局を設くるに決定したが爲めであるが右に對して西村殖產局長は甚だしく機嫌を損し居る模樣であるも行政各般に亘り緊縮と整理とを以て議處せざる可からざる時に當り局課の廢合にあらずして擴張を意味するこの新設局に關する官制を法制局に於て果して通過するや否や頗る疑問とされてゐる。

後藤子の堅き決心
爵位を返上し總ての公職を去らん

【東京電報】不敬事件に關する當面の責任者として他の閣僚より一際辭意固き後藤內相は單に內務大臣を拜辭するのみならず之と共に爵位も返上し貴族院議員其の他一切の公職を去り一個の後藤新平たらんとするの決意あるものゝ如く見へらる、蓋は往年山縣公が宮中某重大事件に際して公職を去らんとした前例に倣ふものとも云はる

懲戒委員會開會
警備關係者の責任調査

【東京電報】重大事件に關し警視總監、警保局長以下各關係者の責任者を懲戒委員會に附する事に二十八日の閣議で決定した右懲戒委員會は樞府顧問官中から委員長を選任し兩三日中に委員會が開かれるであらう

河野廣中翁危篤

【東京電報】永らく病床にある河野廣中翁は廿八日危篤に陷つた

人事消息

▲劉泓鍾氏(康平郡守)二十八日入城旭町觀北里五番二自宅滯在
▲林茂樹(專賣局製造課長)二十六日朝渡別府へ

本紙納刊と年頭休刊

本紙は本號を以て本年の納刊といたします。年頭は一日附、三日附、五日附の新聞を發行し(二日附、四日附の新聞は休刊)六日夕刊より平素に復します。但し朝刊は六日附の朝刊迄休刊いたします。右御了承を乞ふ
十二月二十九日 京城日報社

朝鮮海運界
前途樂觀か
恩田朝郵專務談

震災地復興材料輸送の爲一時小型船の殆ど總てが之れ方面に集中した爲に朝鮮海運界も船腹拂底を告げ運賃の値上で曾て類例のない繁昌を見たが近來內地に專用されて居た小型船も復歸し出した爲め朝鮮では有餘る狀態で多少落付きを見せて來た樣である穀物の出廻りも之で一巡の姿であるが一時金融業者の貸出緊縮の聲が高かつたので相當投賣も現れるかと思つたのが豫想外に農家の金融も潤うたと見え幾分か賣惜しみの傾向さへ現れてゐる米價が相當よかつたので隨分移出した筈であるが然し內地で傳ふる如く未だ多額の移出に上つては居まいと自分の觀測では未だ半分も出てゐまいと思ふ朝鮮でも常食を米以外の代用食料若くは外國米を代用して漸く移出額を增加する必要がある、斯したら常に窮狀に苦しむ農家の生活も裕福にならうと云ふものだ、朝鮮郵船としては一時の景氣に捕られて徒らに事業を手廣くする樣な事がなかつたので何等の打擊もなく無事越年も出來て來春の事業も少しも悲觀する樣な事はない、海運業としては臨時船の輸轉よりは

辭令

【東京電報】
任總督府道警視 佐野成
院醫官(四等) 大島正
大橋弘
任同上(七等)(各通) 忠清南道大田郡大田面長 江田繁雄
慶尚南道昌原郡鎮海面長 織田選
奏任官を以て待遇せらる(各通)

突亥多京城旅行漫吟 小坂韓準謁
洛城千里路如砥 汽𨍏轔々滾客行
此身喫苦緣何事 家國深憂獨淺誠

兩公共上京すまい
會談の內容は言はれぬ
入江侍從長語る

【東京電報】入江侍從長は廿八日午後一時五十分興津に松方公を訪問御下問の趣きを傳へ會談三十分にして辭去し次いで西園寺公を訪問一時間會談の後辭去し更に松方公を訪問會談十分餘にして辭去、九時五十分東京驛着直に自邸に入つた、侍從長は『兩公に對して攝政宮殿下の命を傳へ時局に對する考へを聽いたが會談の內容に付いては言はれぬ兩公とも上京する樣な事はあるまい』と語つた尚廿九日早朝赤坂離宮に參內奏上する筈であると

天氣豫報(卅日)

晴 一時曇

廿九日正午 攝氏零下一一度六
攝氏零下一一度一
廿八日最低 攝氏零下十三度五

氣象日報(廿九日)

二十九日朝高氣壓は依然支那方面に占據して七百八十粍を示し夫れより氣壓は東方に向つて遞減して居る半島は氣壓の傾斜頗る急峻で一般に西北風流行し氣溫は昨朝に比し七度內外低い三十日京城は晴一時曇るべし

茶話

茶話子が豫感したやうに矢張り東拓總裁は川上さんでも林さんでも無かつた▲宮尾舜治さんが東拓總裁となつたのである▲宮尾さんは後藤內相の推薦だらうが復興院副總裁から東拓總裁へと隨分際どいところを渡つたものだ▲今更云ふまでもないが宮尾さんは純領士を官場の人として可なり長く歩いてゐるから謡話材であらう▲ことに人物の洗練されてゐるのは川上さんよりは段違ひであることになつてゐる▲石塚總裁の勇退につゐて川上理事も辭表を提出した▲川上理事は石塚さんとの關係上當然さうあるべきだが人見理事の共に殉ずるの理由は無い譯▲恐らく人見さんは居殘りとなるだらう

大正十二年民申第二九一三號

公示催告

東京市日本橋區兜町五番地 中立人 株式會社東京鍛田銀行
京城府貞洞十一番地 右代理人辯護士 片岡介三郎

一、株式會社朝鮮殖產銀行發行朝鮮殖產銀行債券 但第貳拾八回額面金壹千圓券第七七壹號大正拾參年貳月壹日渡以降利札附利息年八分大正拾貳年七月拾日ヨリ大正拾四年八月壹日迄據置大正拾七年八月壹日迄ニ隨時償還

右證券ニ付中立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ其所持人ハ大正拾參年六月參拾日迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スベシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアルベシ

大正十二年十二月二十六日 京城地方法院

大正十二年民申第二九一四號

公示催告

東京市日本橋區小網町一丁目五番地 中立人 小松字兵衞
京城府貞洞十一番地 右代理人辯護士 片岡介三郎

一、株式會社朝鮮殖產銀行發行朝鮮殖產銀行債券 但第貳拾八回額面金壹千圓券第四四七號大正拾參年貳月壹日渡以降利札附利息年八分大正拾貳年七月拾日ヨリ大正拾四年八月壹日迄據置大正拾七年八月壹日迄ニ隨時償還

右證券ニ付中立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニ因リ其所持人ハ大正拾參年六月參拾日迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スベシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアルベシ

大正十二年十二月二十五日 京城地方法院

病氣靜養の爲旅行致候に付年末年始缺禮仕候
京城御成町 小山光利

貸借對照表
第十三期決算報告

借方ノ部	
未拂込資本金	三七五、〇〇〇・〇〇〇
滯貸及未收入金	九、三五一・三〇〇
土地家屋	五五、〇九三・八六五
機械器具及什器	一九、五九三・〇九〇
未經過保險料	七七七・〇〇〇
振替貯金	六・四〇〇
假拂金	一、三九〇・九七〇
當座預金	一、五二一・三四〇
金銀	一〇三・一三〇
賣掛及受取手形	三二、五四一・〇五六
原料商品未製品	四二、九七七・〇四〇
當期缺損金	三、三三一・九七〇
計	一四四、四〇四・九七五

貸方ノ部	
資本金	一五〇、〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	七、六〇〇・〇〇〇
機械器具償却積立	一、〇〇〇・〇〇〇
未拂配當金	三一七・〇〇〇
未拂金	一、三三四・九〇一
假受金	二・四七〇
當期準備金	三、七五〇・〇〇〇
前期繰越	三六〇・〇八〇
計	一四四、四〇四・九七五

大正十二年十二月
取締役任期滿了ノ所佐野彥藏、釘本藤次郎、鈴木德輔、辻川富重、八重任シ小林源六就任セリ

朝鮮製絲株式會社

朝鮮及滿洲

一月號出づ(第百九十四號)本誌一部六十錢(本號に限り八十錢)

國難に當面したる新年……山川端夫(?)顧問官
上を押さへ下を上げる新政策……小林法學博士
普選の實現後を想察して……堀江法學博士
宗教と美術に就いて……柳宗悅
經濟發達階段說に就いて……田村文學士
日置獨逸大使と語る……萬二千峯學人
建國の精神……大塚內務局長
唯實行の一事あるのみ……前田少將
年頭所感……諸名士
後藤新平子と訪ふて……支局記者
歐洲より歸りて……高武事務官
酒と其酩酊……水津精神科長
科學上より見たる鼠……下郡山誠一
醫學上より見たる鼠……小林理學博士
詔勅の精神……釋尾東邦
文獻に現はれたる子の年に就いて……坪內廣(?)今村鞆
鼠の結婚……今村鞆
東京通信……飛魚漁郎
滿鮮對抗劍柔道仕合……鳳凰樓生
頭腦の惡い男の話し……麥原朝臣
滿洲時言……湯將軍
大連より……北山邦公
漢詩‖俳句‖和歌
體育より觀たる京城の官民……一記者
戀の畫家……村上狂兒
澤野璃璃子の哀婉悲話……篠崎潮二
本町通の商店と奇怪な事件……覆面散史
十二年度の重なる警察事件
財界一ケ年回顧錄……一記者
財界漫言……竹堂生
十二年甫要史‖鼠雜話‖滿洲茶話‖編輯餘滴‖風聞艷話
小父と子……難波黑鳥
說ベットの一日……山口皐天

發行所 京城南山町一丁目 朝鮮及滿洲社 電話二二五〇番 振替口座京城一三二一番

旅行中年賀缺禮
住井辰男

旅行中に付年末年始の禮を缺ぐ
京城日出町十三 志岐信太郎

旅行中に付 年末歳始の禮を欠く
阿川重郎

新校舍落成に付一月八日より同所に於て授業を開始す
但相馬學長邸の假事務所は十二月二十五日より新校舍內に復歸す
東京神田今川小路 專修大學

直輸入元より需要家に直賣

お待ち兼ねの
エフエンとロビン
二連銃が新入荷致しました
(多大の御好評に依り品切れ久しく品切の處今回少數再入荷致しました)
堅牢無比‖體裁優美
命中正確‖價格低廉
內地では目下最も好評ある實用的二連銃として兩者の右に出ずるものがありません
各種二連銃、單身銃
空氣銃、ピストル 在庫豐富
直輸入元 大阪內本町 株式會社西村銃砲火藥店 電話東二四六〇番 振替大阪二四〇〇番

來年の干支に因んだ鼠の遊戲

警察史上に例のない大事件が續いて勃發

頗る多事だつた今年の警察界 感慨に耽る馬野さん

關東地方には未曾有の大震災があつたりして大正十二年と云ふ歳は眞實の厄年であつた、京畿道だけを見ても餘り運の宜い歳ではなく殊に警察界は多事であつた、京畿道の要職なる馬野警察部長は語る『厄年でしたよ、鐘路の爆彈騷ぎから金相玉事件、相續いで義烈團事件と息をつく暇もない位に續發した、その他にも隨分大小の事件があつて忙しい目を見た、歳末に際して回顧すると感慨なきを得ずである、想へば四年前に遡らせると彼の大正八年の騷擾勃發の當時の朝鮮は鼎の沸くが如き有樣でとても收拾することは出來まいと觀測された位であつたのに拘らず、齋藤總督閣下の着任以來僅四年間にこんなに民心が平定したといふことは奇蹟的現象であるといつてよい、靜かに思想の推移を考へて見ると大正八九年の頃には有形的不穩運動であつたが十年以後にはそれが形を變へて無形的運動となつたやうだ、面白い現象は各種の運動が京城を中心として行はるゝやうになつた事と、それから八九年頃には鮮内から起つた不穩運動が十年以後には鮮外から這入つて來るやうになつた事である、本年起つた鐘路の爆彈事件も金相玉事件も義烈團事件も皆鮮外から入つて來たもので鮮内朝鮮人の思想とは殆ど沒交渉なものである、殊に義烈團事件の如きは朝鮮警察史上曾て見ない程の大事件であつたが、それを未前に防ぎ得たのは實に幸ひとする處である十二年の歳を送つて、平和な朝鮮の大正十三年を迎へるかと思ふと感激を覺えるのである』

活氣はない…が悲觀した景氣で

龍山方面の年末

龍山方面の年末の景氣に就て石原磯次郎氏は語る『金融硬塞であつて沈靜ですね、一體に例年の如く活氣のない事は事實ですが然し悲觀した狀態ではありません私の組合（新龍山信用組合）などは下半期十二月二十五日の現在で二萬二千圓餘の純益を收めて居ります一般に[illegible]ると共に一つ大いに[illegible]いものですね、諸種の立ち行かないものは可なりあるやうですが、それは全然金融狀態の沈靜からではなく年末一般の現象でせう』

六朝時代の佛像

京都東福寺へ寄贈

最近滿洲から京都臨濟宗本山東福寺へ寄贈された佛像は滿洲の皇室がまだ滿洲に在つた頃守り本尊としたもので清の大宗が日夜之を拜し遂に支那全土を征服したと云ふので珍しいものとされて居る六朝時代の金銅の鍍げかゝつた立像で高さ四尺七寸五分重量七十貫大連紀伊町に住み滿洲の寶玉と云はれる角田庄藏氏が東福寺本堂再建を聞き苦心して手に入れ本尊として寄贈を申し入れ東福寺からわざ〳〵山内の住職を大連に派して受取り諸船其の他の好意で運送費も殆ど全く無料で通過し最近東福寺開山堂に安置したのである右六朝時代の秘物の外高麗時代の座像と青銅大香爐も寄贈されて居るので同寺では新春を俟つて帝大か帝室博物館の專門家の鑑定を乞ふ筈だと云ふて居る（京都電報）

山本首相御詫言上

久邇宮家へ

前代未聞の大事變の責を負つた山本首相は恐懼の餘り懊惱憔悴して居るが二十八日は午後二時半獨り官邸より自動車を驅り久邇宮邸に參向し王殿下並に良子女王殿下に今回の事變を惹起した事は衷心恐懼に堪へないと只管御詫びした其歸途青山墓地に立ち寄り亡父伯爵氏を始め先祖代々を祭りたる五輪堂の墓前にフロックの襟を正して熱涙に咽び事變の責を詫びた（東京電報）

米國から御見舞

大統領の電報

【華盛頓二十八日發電】國務卿ヒユウズ氏は在東京米國代理大使デマサアソン、カツフエリイ氏に宛て攝政宮殿下に對する左の如き御見舞電報を發送した

米國大統領は昨日攝政宮殿下に對して行はれたる不敬事件を深く悲痛せらる而して幸にして殿下御身體に何等御障りも無かつた事を大統領を初め米國國民は謹みて御歡び申上げる旨攝政宮殿下に御傳へを請ふ尚米國大使ハイラムウッド氏に於ても攝政宮の御安體を御喜び申上げる旨御傳達ありたし

內相邸の暴行者大部分捕はる

何れも赤化防止團員

廿七日夜後藤內相の私邸に闖入した暴行者に付き警視廳は廿八日午後三時と云ふに赤坂山町の赤化防止團本部及團員の住所を襲ひ就寢中の中野袋井藤浦外四名を檢擧し取調中であるが同夜迄には全部逮捕される見込であると（東京電報）

白木の柩を擔ぎ込む

二十八日午後二時過ぎ麻布櫻田町の後藤內務大臣私邸へ一臺の貨物自動車が來り自動車より下りた印袢纏着の二十七八歲見當と思しき一青年は他の一名の手を借りて車上より横三尺高さ二尺の死體を入るゝ白木の柩を卸し內務大臣邸の玄關へ擔へ込み逃早く身を翻らして再び自動車に飛び乘り逃走せんとする處を張込中の警官の爲め兩名共取押へられた右青年は奈良春男と云ひ他の一名と共に六本木署に引致されたが柩の出所は府下龜戸方面にて既に目星もつき彼等の背後にあり次から次へと後藤內相いじめに手を藉す團體の仕業として其顏觸れも當局には知れて居るから活動の結果に依りては社會的の地位ある名士等にも其累が及ぼす模樣である（東京電報）

難波氏發狂？

自殺の虞れがある

虎ノ門大事件に關し辭職した代議士難波作之進氏は二十七日午後八時歸鄉したが平素温厚な人格者丈けに非常に昂奮し稍發狂の氣味あり自殺の虞れがあると（山口電報）

李王世子

大阪御通過

李王世子同妃兩殿下には二十九日午前九時半大阪驛通過御歸鮮あらせられた、プラットには官民多數の御見送りあり官憲の嚴重なる警戒裡に發車した、兩殿下には御機嫌殊の外麗しく見受られた、予へ

暴利王へ

六ケ月の判決

鉛板暴利及詐欺惡みをなし檢擧された大阪市南區[illegible]通り四丁目鉛板商川合[illegible]太郎の公判は二十八日大阪區裁判所で懲役六ケ月の言ひ渡があつた（大阪電報）

府內二箇所で强盜

玩具の銃をもつて 西大門署が檢擧した一鮮人 竹添町事件の犯人か

西大門署では數日前から非常な緊張振を示し刑事連は血眼になつて活動して居たが二十七日夜に至り府內東方面から年齡三十歲位の鮮人一名を拉し來つて秘密裡に取調べ中である、同人は玩具の銃器を以て府內二ケ所で强盜を働いたもので過般發生した竹添町强盜事件の有力な嫌疑者と目ざされて居る同署の司法主任は『府內二ケ所で

赤十字診療所

休みは二日間

竹添町の日本赤十字社朝鮮本部診療所は一般患者の便宜の爲め年末三十日迄診療し新年は二日より診療する由

冷い留置場で年を越す『罪の偶像』が五十人

板敷の上で顫へながら涙に咽ぶ 悔悟にみちびく掲示のいろ〳〵

慌ただしい歲末氣分の漲る市中を府內各署のお巡りさんは常日頃より一層の緊張味で年末の特別警戒に努め眼を光らせて居る、お役目とは云へこの寒空に徹夜警戒とは御苦勞千萬な話である、お蔭で今年の年の暮は現在の處天下泰平で張り合がないとお巡りさんが苦笑する、府內各署を廻つて見ても臭い留置場で年越しをする被疑者拘留ひするのはザット五十人位ださうで殆どガラ空きの態であるいくら罪人を檢擧取調べるお巡りさんでも血もあり涙もある人間に相違ない、アレも人の子か拾ひと云ふ美しい人情から年に一度の正月だけは屠蘇の一杯位なりと飮ませたいと云ふのでドシ〳〵釋放して居るが釋放された者はいづれも夢のやうな心持で嬉し涙に咽ぶやうな有樣である、然し檢事局には送られず釋放もされず宙ぶらりになつて居るもの即ち留置の者は自業自得と今更前非を悔いながら凍えてしい火の氣のない板敷の上で顫へながら父母妻子の身の上を案じて居る、正月が來ても入獄のことは勿論出入は全く嚴禁されて差入も衣類、寢紙、辨當も制限があり絕えずお巡りさんに監視されて居る、本町署の留置場には

『眞心より悔悟せよ
包む心隱すな諦らめよ
無上靜如來に歸命せよ
吾等は御佛の教誨師なり
疑ふな出來る便宜は與へやう
案ずるな心理の慰安も與へやう
人は憎まぬ當署の守則』

と云ふ掲示がしてあるが中には是を見て監視巡査に悔悟する者も少くないさうである

王子腦病院燒ける

患者五十九名逃走

廿八日午後五時四十五分府下瀧野川町王子腦病院患者室から發火し遂に二階建九十坪の同館を全燒し七時十分鎭火したが收容患者三百名中五十九名は何れかへ逃走し各警察協力して搜索中（東京電報）

▲京城組合基督教會（南米倉町）
三十日午前九時三十分日曜學校午前十時三十分禮拜說教『汝等の生命は何ぞ』長谷川牧師、午後七時三十分聖書講演同牧師、三十一日午後十一時三十分より除夜の祈禱會（來會歡迎）

無人島に漂着した新國丸の船員歸る

一等機關士の遭難談

去る十一月中加奈陀海岸で大暴風に遭遇し船體も破損し一名の犧牲者を出した神戶岸本汽船の新國丸（五千八百噸）については當時外電が報道したが其船員一行は二十八日横濱に歸航した江口一等機關士は語る

新國丸は三井物產のチヤーター船として小麥積取の爲め十月二十一日室蘭を出帆しポートランドに向つた、十一月一日暴風と闘つてゐる間に北緯五十一度四六西經百六十二度四十七の太平洋の眞只中でシヤフトが折れて不安な漂流の日が始まつた、斯くて四日米國巡邏船に救はれ曳航してゐる中に又もや暴風に襲はれロープが折斷し二度目の漂流が始まつた、斯くて十日間浪の儘に押流され、シヤートル、三井物產支店から救助船が來たがその効なく十一月二十五日アラスカ近くのモンタギウー島と云ふ無人島に押流され白熊の襲來を警戒しつゝ同島に上陸し其處で救けられたのである、船體は其無人島に置いて棄てられてある云々（横濱電報）

漢江凍る

車馬も通れる

天然氷會社からいつも睨まれて居た漢江も昨今滅切り寒氣が加はり朝鮮名物の突つ風に吹きまくられると共に二三日前にすつかり氷結しスケーターの影や氷上通過の人を見る樣になり一兩日中には完全に車馬の交通が出來るやうになつた

瑞西の暴風雪

【ゼネヴア廿七日發電】雪崩れと暴風雪のため瑞西の多數の交通を阻止し建築物の破壞甚況に渡り數名の死者をも生じた

二階が墜落して重輕傷五十名

夜學授業中の椿事

二十七日午後七時頃鳥取縣倉吉町山陰製絲株式會社に於て夜學の授業中突如二階が墜落し重輕傷者五十名を出した縣警察部から工場監督官補を急行目下調査中（鳥取電報）

行方不明の飛行船

サワラ沙漠附近を航行

【巴里二十八日發電】佛國海軍省は行方不明となつてゐた飛行船ヂイミユード號が水曜日の午後六時にサワラ沙漠の中程にあるアインサラ附近でエルホガールの方向に航行してゐるのを目擊したものがあつたと公表した

別報【巴里二十七日發電】飛行船テイミユード號の消息に就て佛國海軍省に何等の情報がないが通信途絕と長官に達した通道に依れば數隻の佛國飛行機が搜索の爲め本日アルゼリアのタツガアドに出發したと

司令の死體

シシリアで發見

【巴里二十八日發電】公表によれば佛國大飛行船ヂイミユード號は海上にて行方不明となり司令のシシリア沿岸で死體は發見された

法廷で泣く

中西前副社長 判決言渡の刹那

滿鐵事件公判は二十八日午前十一時十五分東京控訴院に開廷中西前副社長、小日山直登兩氏共無罪の如く證據不充分を以て何れも無罪の判決言渡があつた中西氏は辯護士に縋りつき嬉し涙をこぼした（東京電報）

東京相撲

愈々名古屋で

東京相撲協會は來る春場所興行を愈々名古屋で行ふ事に決した（東京電報）

京龍館の革新

中央館と共營

從來餘り振るはなかつた京龍館は今度軍隊、鐵道、龍山有志の後援によつて前川勝次郎、立山勝亭、淀川磯三郎の三氏が中央館と共に經營する事になつた今後はマキノ高級映畫を上映する筈で解說者としては神戶錦座の出征說士であつた櫻井快堂を迎へる事になつた新春早々新裝をこらして開館すべく目下準備に大多忙を極めて居る

告 第三分會員（京城旭町南山町一帶會員）
一月一日午前十一時旭町二丁目濟廣生命保險會社樓上に於て遙拜式並に勅諭奉讀式を舉行候條御參集相成度
帝國在鄉軍人會第三分會

お正月のお寫眞は 京城旭町一丁目 河原寫眞館へ 電本局二一八一番

板倉暢一郎 居所を急報せよ 工藤

旅行中に就き年末歲始の禮を欠く 林景來

旅行中に付歲末年始の禮を缺ぐ 大塚常三郎

朝鮮事業視察雙六

本紙の新年附錄

新聞二頁大─三色刷り

本紙の月極め購讀者に進呈いたします

內容 ▲益沃水利組合 ▲朝鮮京南鐵道株式會社 ▲廣瀨農場 ▲井上寛堂 ▲漢社染造開門 ▲隈部商店 ▲富平水利組合 ▲辻醬油釀造場 ▲京城電氣株式會社 ▲德國商料廠 ▲朝鮮材木株式會社 ▲貴生堂 ▲三矢酢釀造株式會社 ▲大塚醬油釀造所 ▲朝鮮革具株式會社 ▲京城天然氷株式會社 ▲島屋本店釀造所 ▲開城參業組合 ▲鴨綠江輸船公司 ▲京城煉瓦共同販賣所 ▲小宮果鉛鑛工所 ▲日本醬油株式會社 ▲釜山商工株式會社 ▲松田株式會社 ▲鶴林商事株式會社等

京城日報社

柏木技手釋放さる

嫌疑が晴れて

京城府の土木技手柏木藻三郎氏が去る二十三日自宅に放火したと云ふので鐘路署から檢事局に送られたが其は所轄の通りだが檢事局で取調べの結果右の嫌疑が晴れ二十八日釋放された尚同氏は免職になつた譯でなく自ら進んで辭職願ひを出したのだと

◆正月前と感冒の注意

あと二日で今年も暮れ新しい年を迎へる樣になつた、色々お正月の用意事で自然外出が多くなる、暖い室から急に冷い外氣にあたると感冒を引易いもので、折角の樂しい正月も藥無しになつてしまふ若し感冒に罹つた氣分でもしたら輕いうちにアスピリンを用ひて速く治すに限るアスピリンも普通のアセチールサリチル酸は胃を惡くし、嘔吐等の副作用があるから少し値段は高くも必ず獨逸バイエル會社の眞實のアスピリン錠を用ゆるに限る、之なら小兒にも安心して服用される（廣告）

京劇初春興行

時宗の喜劇

京劇では元日から十日間喜劇の時宗一行を迎へて初春興行の蓋を開ける筈時宗は曾我迺家五郎十郎一派の今日の隆運に盛り立てた功勞者の一人で以前は朝日奈と名乘つて居たのである初日出し物は ▲笑ふ氣に入つた二場 所作喜劇二人坊一場 ▲鷄喜劇時宗十八番樽太鼓二場 ▲社會劇殺し三場 ▲鶴喜劇奴さん二場

映寫幕

狂女は唄ふ（黃金館）三十一日より新映畫 寫寫『幻影の見物』喜劇『立派な人々』時代劇『努力富五郎』喜劇『高トビ』温泉哀話『狂女は唄ふ』など

內閣總辭職に決定

二十九日辭表捧呈

閣議の結果再び內閣總辭職に決し山本首相は二十九日午後四時五分參內し辭表を捧呈した【東京至急電報】

犯人搜索 壹千圓懸賞

東京市外代々木にある代々木御殿家に恐ろしい陰謀が演ぜられた家の主人は嘗て外交官として多年英國に在勤、後實業界に投じ世界大戰の好況時にトン〱拍子に一大富豪となつた松木幹文といふが其資產の多くが下街市街地にあつたので、今度の大震災に徹底的の災に遭ひ多大の損失を被つたので悲觀の餘り日夜苦悶懊惱の結果、突然腦溢血を起して頓死した。親族は先妻の死後に側女から直した三十も年若な民子と、先妻との間になした孔雀のやうな派手な二十歲になる麗子といふ令孃との二人だけ、松木の死後に起つた同家の難問題も、故人の遺言によつて山脇辰樹といふ外交官の青年を麗子の夫とする事に決した、民子は以前から役者買ひに身を窶し自分の情夫と役者川芳三郎を入れて松木家を完全に自分のものとする計畫が破れた、除隊の辰樹は此處に在る、結婚式の前日の團欒會で麗子は遂に兇刄に斃れて了つた、事件は紛糾に紛糾を重ねた此れは日本のコナンドイルと稱さるゝ探偵小說の大家甲賀三郎氏作『姫の秘密』と題して婦人俱樂部新年號に掲載され讀者の爲めに一千圓の賞金を懸けて犯人搜索を始めた讀者を熟識して犯人を當てた讀者に賞金を與するといふ讀界未曾有の計畫で到る處大歡迎を呼んでゐる

行政講習所講習生募集

大正拾參年四月入所セシムヘキ講習生約十九名ヲ募集ス志願者ハ一月二十日迄ニ同所ニ願出ツヘシ
詳細ハ十二月二十三日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ道府郡島若ハ本府ニ承合ノコト
大正十二年十二月 朝鮮總督府

北滿旅行中に付歲末歲首の禮を缺ぐ 西村元

旅行中に就き歲末年首の禮を缺ぐ 角田廣司

旅行中に付歲末歲首の禮を缺ぐ 山副昇

喪中に付年賀缺禮 武田直市

老衰眼近視弱視特効 視力素 眼の若返り藥
在米國ドクトル橋本先生の創製藥にしてのめばズン〱視力を增加し根本的に眼を若返へす實に稀有の良劑なり一般視力減退者に說明書進呈すハガキにて申込あれ
福井市手寄下町四十六番地 兒玉藥房

仁川 上城酒造場

最新刊
武者小路實篤著 或る男 參、八〇
ストリンドベルク著 大杉榮、伊藤野枝譯 女中の子 貳、八〇
菊池寬著 乞食の名譽 壹、四〇
三宅やす子著 わが文藝陣 壹、三〇
田中大吉郎著 生活革新の機來る 壹、九〇
作らるべき東京 、五五
京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七三番 電話本局二〇八六番

內科、小兒科 仁川仲町 高木醫院 電話七一九番

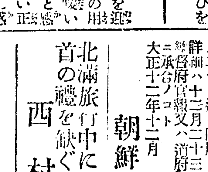
內外科（入院隨意） 岩田病院 附屬 沃度注射院 長谷川町 電本一六二〇

洋行中に付き年始缺禮仕候 仁川觀測所長 後藤一郎

忌中に付き年末年始缺禮仕候 仁川 釜瀨富太

轉居 左記の場所に轉居仕候間謹告候也 轉居先 京城旭町二丁目八〇番地 中河原重吉

旅行中に付年末年始の欠禮不惡御寛容願ひます 龍山漢江通十三番地 上野齒科醫院 追て來月十日頃歸院診療の豫定



京城本町二丁目 宮川大學堂本店 電話本局長二九五九番 振替京城一一二九番
眼鏡類一式貴金屬品金銀盃紀念品等
品質確實に製作し御直段は充分に勉强します何卒多少共御用命を願ます
京城購買會加名店。京城俱樂部特約店。

朝鮮總督府 官製 精華
一手販賣元 貴生堂藥品店 京城本町二丁目 電話本局壹三八 振替京城七六一番

十二月十日より同三十一日迄 ■正札付履物大賣出し
安く仕入れた品が澤山ありますから此際履物はよろづやでお買ひ下さい 本町四丁目 電車終點 よろづや

此の機會に 鴨江材の聲價を昂げよ
―安東木材商業者に望む―

【安東縣】大正十二年度の震災復興に於ける安東木材の第一の批評を耳にするに當り當地木材界の消息通は鴨綠江材の前途に就き左の如く語る　久しく沈滯裡に在つた安東木材界が今秋の關東震災に依つて復興材の需要喚起となり安東木材界は各製材所とも殆ど晝夜兼行不眠不休で作業を續け今や木材の都安東の名を共に實現し安東財界も亦一面に小繁昌を呈するの有樣で鴨綠江材の爲め前途一面の曙光を認むるに至つた事は安東財界の爲め同慶に堪へぬのであるが然し此の好況が果して永續するかどうかは聊か疑問とする所で先づ大阪下の設賑は一時的の現象と見るの外はなからう然りとすれば今後の鴨綠江材は依然舊套の儘で其殼を脫し得ないものと見做さるゝのであるが然し乍ら此機會に於て鴨綠江材の何物たるかを現實に知らしめ得た事は販路擴張の上に於て至大の實價あると見ねばならぬのである少くとも鴨綠江材は此の震災に依つて需要を擧ぐるに全力を注ぐべきで其材質の選擇の如き最も留意すべき問題である、然るに小商人の常として動もすれば一時的の利に喘み前途に何等の顧慮を拂はない者のあることは誠に遺憾である甚だしい苟くも鴨綠江木材の何物たるを理解し其の消長如何が安東財界に及ぼすことの至大であるかに思ひを致したならば安東木材の全部此機會に於て擧つて優良なる態度を以て事に當り即ち鴨綠江材の聲價の昂上に努め以て安東木材界百年の計を樹つべきのではあるまいか

江原道立師範 年限延長さる

【春川】江原道公立師範學校は本年四月の設立に係り短期二年の特科生三十名及短期一年の講習科生卌名を收容していたが年限を三年に延長して素質の向上を圖るべく來年度豫算に之を計上し過般の道評議會に諮り結果滿場一致可決決定した從つて學則の變更認可を得て新たに三十名の生徒を募集し一學級を增加し來任教諭を迎へ師範學校の地步を高めることにした

全州令市日延

【全州】全州繁華市は最初不振の模樣であつたが昨今本町筋では綠門を立て夜間は大提灯を吊して賑ひを添へてゐるが各方面からも商種數入込み漸く人氣を回復するに至つたが最初の計畫は本月廿八日を以て閉市の筈であつたが今一ケ月日延べすることになつたといふが令市期成會では廿七日午後一時から公會堂に各方面の有志多數を招待して祝賀會を催した

早く醫專に昇格したい
官民諸君の御援助を願ふ　村上大邱慈惠醫院長談

大邱慈惠醫院長上村博士は二十六日夜官民數十名を料亭芳千閣に招待して忘年の宴を張つたが同院の現狀につき述ぶる處あり又現在の醫育機關に就て左の意味の演說を試みた(大邱)

朝鮮に於ける醫育機關を見まするに實に微々たるものであつて唯京城に官立醫學專門學校一つと外人經營の醫學專門學校が一つあるのみでありまして、この二校より年々百數十名の卒業生を出すに過ぎませぬ、朝鮮に於ける人口と醫師數の比例からしまするとまだ外に三所乃至四の醫專を建設すべき必要があると信じます。左でなくとも大邱と平壤の兩地に成るべく早く醫專を設置せらるべきものと考へられます、私の赴任當時は當局に於ても其の方針で進まれ夫れが爲めに大邱、平壤兩地の慈惠醫院の規模も特に大きくして醫專併設の素地を作られつゝあるかの如く見受けましたが、其後朝鮮大學令を發布せられたのを見ますと從來の京城の醫專は其儘に存置し別に綜合大學を作りて之に醫學部を設けらるゝ由で御座います、大邱慈惠醫院に今後醫專を併設せんとするならば更に大擴張するの要があると信じますが、今日よりも規模大にしてヨリ好き設備の醫院を當地に造り之れに醫專を併設すると云ふ事は大にしては朝鮮の爲小にしては我大邱の爲に極めて有益であつて賛すべき事と存じます、然るに私の外遊中に當地官民有志の方々の御盡力により私設學術講習所に據る醫學講習所を設けられ生徒五十名を募集する事となり其資格は中等學校卒業程度又はそれ以上とある其教授方を私共慈惠醫院の醫官一同が分擔して居ります、承はる處によれば來年度よりは之を道立として經營して下さる相でありますが、醫學專門學校設置の聲が一時歇んで居ります矢先、假令小規模と雖も醫學講習所を設けて現在不足せる朝鮮の醫師の數を少しにしても增加して行くと云ふ事は誠に機に適した事で國家に盡す所以と存じますから當慈惠醫院は職務に支障を來さぬ限り出來得る丈けの努力を吝まぬ考へであります、但御承知の通り醫育は最も多く財源を要する教育の一つでありますから假令小規模の醫學講習所と雖も可なり多くの費用を要し特に講習の課程が進むに從ひ多くの費用を要する次第であります、假令當初は極めて小規模のものとして始りましても慈惠醫院が年と共に擴張し年々其規模を一步一步擴大して以て完成の域に進み、尙進んでは之を醫學專門學校に昇格し得る丈けの素地を作り度き考へであります、此の點に就きましては道當局は勿論進んで本府の當局とも充分御諒解なる了解を得て著々として遂行せしむべきものでありますが、當局官民各位の御盡力に俟たなければならぬと信じます、何卒出來得る丈け早く其機運に到達し得る樣御援助の程をお願ひ申上ます云々

有望な南浦の人車鐵道
穀物の海陸連絡輸送に使用

【鎭南浦】鎭南浦には大正十三年度の事業として最も有利なる方法として人車鐵道を布設しては如何かとの說一部有識者の間に唱導されてゐる鎭南浦は穀物の集散地として既に定評ある土地で毎年十月以降より各地に向け輸出する米、雜穀等は異常なる數字を示してゐるが此の運搬に就ては悉く牛馬車を使用してゐるがこの牛馬を飼育するに凡そ一ヶ月四十五圓を要し(但し之には車の修理を含む)馬子の給料として約三十圓合計七十五圓を要する事となる然るに假に南浦市中全般に約百頭の牛馬を使用するものとして一頭一ヶ年の飼育料約九百圓で一ケ年百頭の飼育料九萬圓の多額に達する事となる之に代ゆるに人車鐵道を布設し海陸連絡の輸送を人車に依れば經營の如何にても有利なる數字の現れるは當然の事で先づ最初の布設計畫を停車場より旭町を通じ三和町船着場まで之れより線路を延長し其以外の線、稅關構內まで延長し來所在地所に迄引込み之を利用せば結局に於て人力に於て不足なるのみでなく種々の節約出來る點で施設の費用は前記の九萬圓を投ずれば餘りある事となるので之れを各道路に施設して道路を損する事もなく一方牛馬車の用は道路を修理する費用も決して僅少でなく若し之れが實現すれば南浦として將來に於て重大なる… る穀物で將來は之を廣梁灣に延長し原鹽輸送に利用する事とせば彼我共に得る處は甚大であらう

平南御用納

【平安南道】に於ては二十八日午前十一時半道會議室に職員全部を集め米田知事より本年度の御用納めの挨拶あり渡邊內務部長より答辭があり又府廳に於ても同日午後二時より御用納めの式あり宮館府尹の挨拶に對し佐藤內務課長の答辭があつた(平壤)

新義州の御用納

【新義州】新義州に於ける各官衙の御用納めは平北道廳、營林廠、府廳等が二十八日執務後其長官が一場の挨拶をなして終了したが鐵道、郵便、電信、專賣支所等は御用納め處か年末とて益々多事多端となり何れも徹夜兼行で活躍してゐる尙守備隊憲兵隊も相變らず執務してゐる(新義州)

仁川神社祭典

【仁川】仁川神社では恒例に依り左記の通り歳末年始の祭典を行ふと(仁川)
大祓式神事十二月三十一日午後八時
歳旦祭中祭一月一日午前十一時
元始祭中祭一月三日午前十一時

平南道廳拜賀式

【平安南道】大正十三年一月一日午前十一時より三十分間平安南道廳に於て新年拜賀式を擧行する旨宮館府尹より各方面へ通牒を發した(平壤)

全州水道進捗

【全州】全州上水道工事は着々進捗し今年一杯には市內鐵管の埋設をも終了する筈なるが來る新年四日の防火出初式には一二ヶ所の消火栓の水を試驗的に使用する由で或る因に二月乃至三月初めには水道の水が一般に供給されることになるらう

木浦歳末景況

【木浦】木浦の歳末は他地方に比べて割合に好景氣である何しろ棉と米の資金に四百萬圓からの貸出しであるからこれが木浦を中心として近郡に流れ込み隨つて農民の購買力を增進せしめた市內鮮人向の雜貨は近年にない賣れ行きで殊に五十餘軒の重なる商店の聯合賣出しは豫想以上の人氣を呼び景品類は早くも品拂ひにした店も尠くない隨つて各商店の決濟は例年になく圓滑に行く模樣で頗る明朗に越年する見込である又例年も忘年會の如き盛つて催さるべしと思はれたが實際は市中の景氣が惡くないので各旅亭方面は例年の如く賑つて居る但し年賀狀の方は差程ゆる向が多いと見え前年に比し稍賣れ行き二割の減少である

木炭を震災地へ

【東京】朝鮮興業會社は震災以來東京との聯絡不圓滑の爲め東京に木炭の缺乏せるに鑑み豫て朝鮮より移入すべく計畫を樹て黃海道載寧及殷栗郡方面より仁川に廻送し第一回分として二萬三千餘俵を第五吉備丸に積込み二十七日東京へ向け仁川を出港した之が結果の如何に依りて引續き移入すると(仁川)

猩紅熱續發

【全州】全州では先日來猩紅熱發生し漸次猖獗を極めつゝあるので道廳に於ては群山、裡里、全州の各府尹郡守署長病院長其他を召集し豫防方法に就いて協議會を開き種々打合せする處があつたが其後全州では益々猖獗を逞しふし目下到る處に交通遮斷の貼紙を見受け一軒より二人も患者を出し尙續々死亡するものあり容易に終熄の見込みなき模樣である

平南巡査卒業式

【平安】平南巡査教習所に於ては三十日午前十時より第十四期巡査教習生廿一名の卒業式を擧行する筈(平壤)

公州より

本年の公州の歳暮は特に淋しい例年十二月に入れば各商店は聯合大賣出しを開始し各店頭の裝飾も見事に辻々には景品を陳列し官民共に迎年の準備に忙しく申合過ぐれば松飾りなどいち早く整ひ如何にも歳の暮れらしくなるのだが本年は聯合賣出は遂に成立せず一二商店のみ賣出をなしたるも顧客更に來らず失敗に終り市中全く火の消へたる有樣だ之れに反し獨り購買組合のみは大繁昌で一日の賣上げ二千圓以上に及んだ日もあるとされば民間商家の窮迫益々甚だしく經濟全く衰頽し購買の弊益然行はれず二三圓に整理に着手せしものすらある當購買組合問題は本夏頃に端を發し官民の問題となり商友會の援助となり商工公州觀覽會等の設置を陳情する處ありたるも今日に至るも解決せず或は供年議會を經ての結果に成りたるものにて今日もあるは自業自得とたすものあるも鮮人を望むは徒らに感情的であり疑に其非を悟り購用者の事情を容れ營業方法を改善すとて

元の警察官で 在鄕警友會を組織
相互の親睦を計り社會の爲に盡す　二十七日木浦で發會式を擧行した

【木浦】在鄕警察官たる品位を保持し社會の師表となり會員相互の親睦を圖ると云ふ目的の元に全國未だ曾て聞かない元警察官一團の人々を以て組織する在鄕警友會なるものが木浦に生れ二十七日其發會式を擧行した警察署長や檢事有志等を名譽會長や顧問として恰も在鄕軍人の如く在鄕警察官として萬一の場合に民衆の先驅として行動すると云ふのである目下の會員は二十六名で識者間にも此企てを歡迎されて居る

清道より

◇慶北清道郡の一名産たる蹲柿と稱する柿は其品質頗る優良で府に於ても之を獎勵し種々に選定された位だが郡でも大正十三年度に於て同柿苗約十萬本を接木して各面に配布する計畫中である

◇清道郡梅川は全鮮に於ける朝鮮薄酒即ちマッカリーの原料となる麯の生產地で其年産額は七八十萬圓の多額に上り販路は大邱、釜山、晉州其の他の各都邑に及び頗る有望の事業だが一般に資本貧弱にして仲買業者に利益を壟斷せらるゝ遺憾あるを以て郡道當局に於ては其獎勵又は救濟方法に就き目下研究中だと

◇清道郡製紙業は振興せらるゝ鮮紙は其品質頗る優良にして年々他郡に移出する額は一萬圓に達し其の價額は二三十萬圓に達し將來益々生産增加を見るであらう

倭館より

◇倭館驛の發達によりて土地の繁榮する所もあるが却て他の地方に繁榮を奪はるゝ點もある殷盛を誇つた洛東江の水運に依らず中央線道の開通により漆谷慶山の發達が大に奪はれた如く倭館も亦慶山と漆谷の悲運に到來せんとしつゝあるので倭館の官民は今や焦燥の裡に日を送つて居る

◇從來安東地方の農產物は主として洛東江の水運によりて倭館に出て又洛東江の上流各郡邑に到る雜貨や織物布食鹽の如き重要な需用品も舟筏の便を籍つて供給せられて來たのであるが奧地の各方面に通ずる道路の開發改修によりて漸次馬に依り安東地方の物資は金泉又は大邱に運送せらるゝのと一方は洛東江が年々減水の傾向があるので舟筏の便も多數の日子を有する事となり倭館の將來は益々悲觀材料が多い樣である

◇之を數學の上から見ると米穀の移出は三十萬叺であるが本年は其出廻りが例年より早く几多かつたに拘らず五萬叺位に過ぎなかつた主として米穀を主體とする鐵道は年々二三百萬圓であるが年を追ふて減少する傾向がある先月は僅に十五萬圓に過ぎず本月は其以下に降る見込である兎も角倭館の將來は他に何等かの活路を拓かねばならぬ運命に迫られつゝある事を切實に感ぜしむる

光州より

◇光州消防組出初式は一月四日午前九時警察署前に集合人員點呼服裝檢査器具機械の檢査をなし午前十時より慈惠醫院裏にて手押ポンプ、ガソリンポンプ操法ポンプ放水の競爭ガソリンポンプ威力試驗其他興味ある番組をなす可く秋場消防組長は夫々案內狀を發した

◇全羅南道では府郡廳を除く以下五十名の判任官地方待遇職員に對し十二月三十日附を以て夫々昇俸の辭令を發した

ピストル強盜
醫生を脅迫

新義州府外麻田洞醫生宋國夏方に二十六日午前六時拳銃を所持した男が現れ驚く家人を尻目に掛け宋國夏に拳銃を突付け凄文句を並べた揚句五日後に返金するから百圓貸してくれと脅迫し有り合せの二十餘圓を强奪逃走した新義州署では目下犯人を嚴探中であるが犯人は廿五六歳の鮮人であると(新義州)

暴行事件判決
二名は無罪

全南咸平の小作人暴行事件は咸平勞働親睦會員中十四名起訴され木浦法院支廳で審理中であつたが內十二名は八ヶ月乃至二年の懲役他の二名は無罪の旨二十四日判決言渡があつた(木浦)

內地出張員觀察談

總督府の內地大都市に於ける財務行政視察の爲め出張したる京城府の成瀬庶務、李仁龍、須崎照雄、金戶祭一次氏等は二十八日午後三時から府廳に於て視察談を爲した

大同間電信線增設

平北新義州方面は鐵道敷設工事の進捗と共に其發展著しく電信電話の激增を來したので遞信局では大邱、尙州間に電信線を增設し緩和を圖ることゝし本月廿七日から通信を開始した

長城の寒天
金牌賞を得た　多年の努力　副業として好適

滿鮮釜山で開かれた水產共進會で金牌賞を得た全羅南道長城の寒天製造所は創立以來十二ケ年の歷史を有し現今木浦殖產株式會社の經營で大正八年以來主として角寒天を製造し一部外國向きの細物をも試みて居るが朝鮮の他の二寒天製造所(梁山と大邱)が萎微振はざるに反し當所は多年拮据經營幾多の犧牲を拂つて朝鮮の寒天業のため努力した結果は空しからず今では其尊き經驗と搗ていゝ加へて天然の好地形は到底他所の企及し能はざる良質なものを產出し從來各地の共進會に於て既に三個の金牌を得て居るので鮮內は勿論遠く滿洲或は內地各方面から注文殺到するが僅かに鮮內一部の需要を充たすに過ぎない狀況である

元來同所は…割した所だけ寒天の製造所としては理想的な所で原料の供給には木浦地方に無盡藏に産し需要は殆んど世界的と言つても好い位で朝鮮の工業としては非常に有望なものであるが本業は主として人力によるもので大規模の工場經營は餘程研究を要するので會社でも其生產增加に就ては一方ならぬ苦心をして居る個人の副業として到る所に斯業が普及せん事を望んで居る同所最近の年別生產高は左の如くで寒天は凍結作業である

年次	細寒天	角寒天
大正四年	三、〇四六	二三〇
同五年	九、八六六	一六、一五〇
同六年	六、三二六	：
同七年	三〇、二七〇	三、八二〇
同八年	三二、七三八	六七、六〇〇
同九年	一二、三八〇	一〇〇、〇〇〇
同十年	一一、四〇八	一五一、五〇〇
同十一年	六、三七五	三二一、〇〇〇

(角寒天 大正四年―同七年 試驗時代)

地方集會

▲平北道食堂會忘年宴【新義州】生田道知事劉參與官磯部內務池田財務安藤警察三部長及び各課長級の人々に依つて組織されてゐる平北道廳食堂會では二十六日夜料亭三橋にて忘年宴會を開催したが席上は當番幹事石田地方野田農務兩課長が世話役で出席者二十餘名誰彼れの別なく無禮講を發揮し頗る痛快な眞の忘年會であつた

▲米田知事忘年會【平壤】平安南道警察部長藤原喜藏氏は米田知事の名を以て二十七日夜六時より柳屋ホテルに於て在平新聞記者及宮館府尹、本警察署長外三十餘名を招待し盛大なる忘年會を開催し一同十二分の歡を盡して同十時散會した

地方人事

▲松井信助氏(大邱府尹)廿八日午後發鄕里下關へ歸省(大邱)
▲圓田彥一氏(大邱專賣支局業務課長)二十九日出發別府溫泉へ(大邱)
▲富永一二氏(慶北警察部長)二十八日發義城、安東地方へ出張(大邱)
▲田中綠氏(同警務課警部)同上(大邱)
▲森脇英土氏(同警務課長)廿九日頃鄕里鹿兒島へ歸省(大邱)
▲兪萬兼氏(慶北社會課長)二十八日午後京城へ歸省(大邱)
▲朴英鎭氏(平北道碧潼郡守)病氣中の處廿六日逝去(新義州)

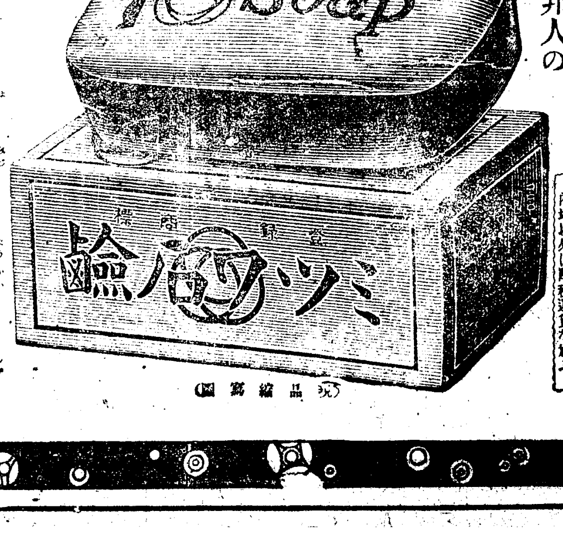
○ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて、其種類を異にすと雖も、而も皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき、化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分泌量多くして而も粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

○ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。
即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適ひ經濟に合する、理想的實用品なり。

種類		
機械煉製芳香石鹼	大形	金參拾錢
	中形	金貳拾錢
	小形	金拾五錢
	極小形	金七錢
	赤函四十番	金四拾錢
	三十番	金四拾五錢
	フローラ	金貳拾五錢
水製石鹼	大壜	金五拾錢
	小壜	金參拾五錢

內地以外は關稅運賃を加ふ



(現品縮寫圖)

○ミツワ石鹼大形は 三個函入 一打函入 の二種あり何れも同じ値段に提供仕候

ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
ミツワ人參葡萄酒
ミツワ規那鐵葡萄酒
ミツワポートワイン
御園化粧品

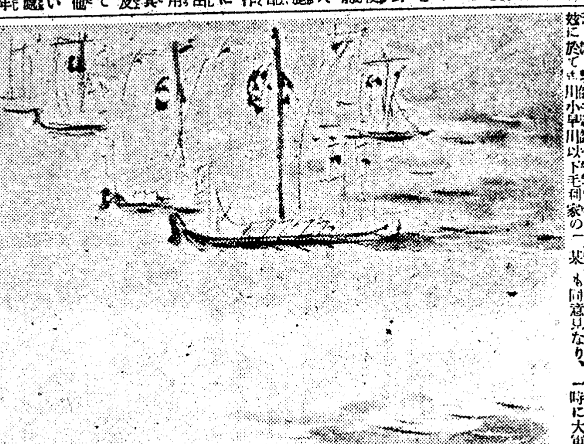
發賣元 丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑・滋養品・石鹼・香粧品・小間物問屋
假營業所 東京市下谷區二長町
振替貯金口座東京七一〇番

通俗太閤記

松林伯知講演
加藤由太郎速記

三百三十九回

浮田直家が思ふやう『天晴れ運の盡きぬものかな、尼子は毛利の宿敵なり、此の事を毛利に注進せば毛利三家定めて大軍を以て出陣すべし、其の勢を夫れの勢ひを以て上月を攻落さんとせば、羽柴筑前守必ず上月の後詰として馳來るべし、然らば毛利は羽柴と合戰に及ばん、其勝敗に就てまた手段を巡らすべきなり』と運を兩端に掛けて工夫をなし、急ぎ毛利家に使者を送つて織田信長先陣羽柴筑前守秀吉播州に下向して中國に攻入らんとす、就中尼子勝久、山中鹿之助を始め雲州の浪人共秀吉の麾下に屬して上月の城に籠もり、作州へ亂入し備中伯耆を經て雲州に斬入り富田を攻めんと企て居る由承はつたり、急ぎ御出馬の御用意然るべく、御陣延引に及ばゞ其の勢頗る強大となり、御大事に及ばんと注進に及びましたに由つて右馬頭輝元朝臣は吉川小早川其他老臣重役を集めて評『此事如何いたして好きや』との仰せ、然る處へまた／＼早打到著に及び、今年三月播州の別所小三郎治長織田家に背き三木の本城に籠居して織田勢近々下向仕りたる由、若し此事誠ならんか其人數も夥しの如くなるべし、一刻も早く御進發の御承知あつて然るべしとのことなり茲に於て吉川小早川以下毛利家の諸老士今は猶豫する所にあらずといふことになつた、中にも小早川隆景が『尼子は當家の怨敵なれば其一族係族たりとも怨せにはなし置くべからず、速かに進發ありて尼子を攻落したならば先君の靈魂に對しても孝養の大なるものにござる、然し信長の先陣羽柴筑前播州にありて聞かば必ず後詰に來らん、當方も早き方然るべし』吉川元春『唯今まで信長とは合戰せず、然し斯く相成つたは據なければ一日も早く出陣なり、一時に大軍を出し、願はくば筑前の後詰の至らざる間に上月の城を取ること策の得たるものなり／＼』とありまして茲に評定一決なし、三月二十八日備中、備後、安藝、周防、長門、出雲、伯耆、石見、隱岐の軍勢八萬八千餘騎を集め、上月城を攻落すべしとあつて出陣に及んだり、浮田直家手を打つて喜び『斯る上は毛利筑前と必ず一戰に及ぶべし、而して毛利は八萬餘騎、筑前の軍勢は二萬三四千に足らざるべし、毛利は三家一致せり、筑前は只一人、筑前毛利と合戰に及び、秀吉難儀と聞えなば信長必ず出陣なさん、信長出陣せば其勢十五六萬に及ぶべきか、然らば毛利三家と織田家との必死の戰ひにして兩家の存亡此時なり、暫く出馬を止めて兩雄の勝敗を見物せん、これ蜀の孔明が呉と魏の國を戰はしめ玄德をして帝王たらしめし神策なり』と直家と云ふ人は飽までも狡猾に出來て居る、左れば浮田和泉守直家は態と病と稱し浮田七郎兵衞忠家、浮田信濃守、戸川肥後守、花房志摩守、長船紀伊守、岡越後守、岡剛助、明渡飛騨守其他備前美作の諸士を催促して一萬五千餘騎にて先陣のため毛利の手に馳せ加はり、四月中旬中國勢中國表に發行なしたれば輝元は三萬餘人にて備中松山に布陣を据えられました、吉川駿河守元春、嫡子治部少輔元長、二男繁澤宮内少輔元信及び元春の弟毛利少輔十郎元秋、其他一家郎黨三萬七千餘人、また小早川左衛門尉隆景、同舍弟井田伊賀守元清一類大野六郎左衛門元政、宍戸安藝守隆家、其他三萬八千餘人、また船手よりは村上八郎左衛門、粟屋内藏允元宜、野島大和守武吉以下一萬五千餘人、大船七百餘艘を漕ぎ連られ、これに浮田が先陣等併せて八萬五千餘人、別に輝元朝臣の三萬餘人は若し味方敗戰との報を得ば直ちに出發のことゝ定め、吉川小早川浮田を先陣として上月に押寄せ先づ鬨の聲を揚げましたに由つて天地も崩るゝばかりであります。



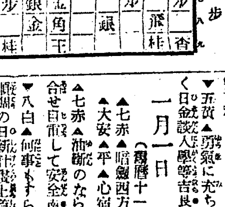
寫眞
お正月のお寫眞は
京城旭町一丁目
河原寫眞館
電本局二九八一番

棋新手合 (三)

仙臺市東一番丁辭呂木於將棋所飯塚五段觀迎會席上

角落 △五段 飯塚勘一郎 (東京)
▲三段 石井萬之助 (仙臺)

圖は前號指了迄の局面 ▲持駒 石井氏 歩



△三四歩 ▲三六歩 △四三金 ▲四七銀 △一四歩 ▲一六歩 △二二銀 ▲七九玉 △七三桂 ▲八八玉 △八一飛 ▲三七桂(八) △三三桂 ▲四五歩 △六五歩 ▲同歩 (二)△同桂 ▲六六銀 (以下次號)

▲(八)三七桂と飛ぶ處三八飛と振りて指す手とあり
▲(二)同歩は早し此處四四歩同銀四五歩五三銀六五歩同桂六六銀と指す方優れり

十二月卅一日

(舊曆十一月廿四日) 月曜 ▲六白 ▲戊寅 ▲佛滅 ▲滿 ▲心宿

▼六白 ▲動もすると物事の喰ひ違ひ易き日 金談は凶 西と北と南が吉
▼七赤 ▲出世の端緒を得る日 實直にして進んで有利 西と北と南が吉
▼八白 ▲諸事圓滿にして福分に富む日 求職縁談大吉 東と北と丙が吉
▼九紫 ▲調子に乗り過ぎると不覺をとる 堅く内に守つて安全 東が吉
▼一白 ▲順調の日 願ひ事は成就する 行商移轉開業等亦吉 東と坤が吉
▼二黑 ▲前後に氣を配つて進む時は存外に成功する日 艮と西が吉
▼三碧 ▲不用意にして思はぬ失敗を招く 世話事禁物 南と東と壬が吉
▼四綠 ▲無駄骨を折る日 新しき計畫は不利なり 辛抱が肝腎 南と坤が吉
▼五黃 ▲勇氣に充ち大いに敵を挫く日 金談入學等吉 艮と北と西が吉

一月一日

(舊曆十一月廿五日) 火曜 ▲己卯 ▲七赤 ▲暗劍西方 ▲大安 ▲平 ▲心宿

▲七赤 ▲油斷のならぬ日 新事を見合せ自重して安全 南と乾と艮が吉
▼八白 ▲何事もすら／＼と片付く順調の日 新計畫上首尾 南と壬が吉
▼九紫 ▲何かと口説の多い日 他人の世話事禁物 北と坤と南と乾が吉
▼一白 ▲元氣潑溂 向上發展の日 開店披露大吉の日 有利 巽が吉
▼二黑 ▲諸事面白く捗る 緣談求職金借其他何事にも大吉 巽と乾が吉
▼三碧 ▲勞して效なき日 總て内輪に行りて安全 盜難注意 艮と坤が吉
▼四綠 ▲不利征な問題を持ち込まる、日柄目が有利 北と壬と癸が吉
▼五黃 ▲願望の叶ふ好運の日 大いに進んで成功する 乾と南が吉
▼六白 ▲穩かな日 入學求職建築開業又は名弘に吉 南と艮が吉

新刊紹介

▲支那の文職研究 (大竹歩兵中尉著) 支那語學の研究は支那の事情と相俟て進行せざれば暗中物を探るが如く疑惑誤解多く適切に解釋することが出來ない殊に民國以來の支那の現狀は其沸騰混亂の極まり直奉戰前後の經過は其の一端を窺知する事が出來るので著者は本書に於て冒頭に民國創立後の大勢を論じ直奉戰並に他方面に於ける情報或は信書を日時に從ひ記述して推移を知るに便にし譯文は原文を變轉せずして對照に便じてある將來の參考書たるばかりでなく支那語研究の好資料である (一圓八十錢東京日本橋區通三ノ七武揚堂書店)

▲稅率と通關 (内海五郎氏著) 本書は多年支那貿易に從事し斯業に經驗深き著者が公刊したもので支那貿易に從事する者は勿論一般商工業者に對して對支貿易上の好資料である (八十錢大連浪速町大山通角大阪屋號書店)

▲朝鮮地方行政 (十二月) 三十錢京城長谷川町九三帝國地方行政學會朝鮮本部 ▲教育 (十二月) 二十錢東京小石川區大塚窪町二三高師門茗會 ▲兒童タイムス (創刊號) (二十錢) 仁川府本町三ノ四其社 ▲趣味之世界 (十二月) 五十錢京城黄金町日本生命ビル内其社 ▲中央佛教 (十二月) 四十錢東京牛込區矢來町一其社 ▲さくらゐ (十二月) 非賣品京城櫻井公立小學校 ▲東亞法政新聞 (十二月五日) 二十錢京城明治町二ノ四其社 ▲收穫 (創刊號) 咸南北靑内里生態四代秀 ▲朝鮮銀行月報 (十一月) 七十錢京城朝鮮銀行

年頭賀狀の儀當節柄差控へ候方可然存候に付乍勝手自今廢止仕候間此儀宜敷御諒承被下度乍略儀以紙上豫め得貴意候敬具

大正十二年十二月

廣岡惠三
廣岡久右衛門
星野行則
祇園清次郎
吉井仲助
松井萬緑
加輪上勢七
平澤眞
城川善藏
大同生命保險株式會社社員一同

時計並貴金屬
本町二丁目
糸岐商店
電話長三七番

少女歌劇大會

大連に生れたかはいゝ少女歌劇がまいります (七歳より十三歳までの一行二十五名)
お正月の一日を是非公會堂へ

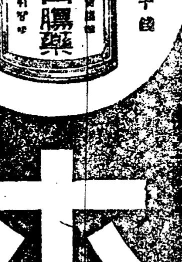
一月二日、三日のプログラム (晝は正午より夜は六時より) 開演
一、童謠舞踊 流れ星てる／＼坊主
二、お伽歌劇 舌切雀 三場
三、童謠スケッチ 復興の歌 一場
四、マンドリン合奏
五、童謠舞踊 十五夜お月さん 靑い目のお人形
六、お伽歌劇 白玉野 三場

一月四日、五日のプログラム (晝は正午より夜は六時より) 開演
一、童謠舞踊 鬼ヶ瓦 カナリヤ
二、史歌劇 鞍馬山 一場
三、マンドリン合奏
四、お伽歌劇 カチ／＼山 前、後 二場
五、喜歌劇 うかれ胡弓 二場
六、瘤取り 三場

▲會場 長谷川町公會堂
▲會費 金壹圓、學生金五拾錢、小學生に限り金卅錢
▲日時 大正十三年一月二日より五日迄毎日晝夜二回
▲『おはきもの』は是非靴か空氣草履に願升

主催 東亞文化協會 大連童謠と歌劇協會
後援 京城日報社

▼團隊は割引致します電話光化門二〇五番へ交渉願升



ホシ胃腸藥
廿錢 五十錢 一圓 二圓

賣行き日本一!

講談落語雜誌界の本家本元

講談倶樂部

新年號

見逃す勿れ!!

大評判忽ち十五版!!

今日の苦勞を茲に癒し明日の活力をこゝに養へ!

趣味の源泉、娛樂の寶庫、全誌悉く復興の樹、曙光は本誌より輝き出づる

天下一品素敵に面白い

雜誌界空前の三大附錄の外現代一流大家の傑作をギッシリ滿載、非常な上出來、此の如き格安な雜誌は又とない、——本號こそ是非御覽あれ、斯の如き安い雜誌を見遁したら讀者皆さんの損です。

果然素晴しき此の賣行き

發賣僅か旬日にして忽ち二十版、誌界の一大驚異として各方面より稱讃の聲起る」まだお求めにならぬ方は直ぐ見よ!六百頁の大冊、空前の大傑作である……

◎特別三大附錄の他空前の快讀物五十餘篇滿載・本誌の行く所歡聲湧く!

◎定價本號に限り 金壹圓貳拾錢 (郵稅金五錢)

◎東京市本郷區駒込坂下町 講談社發行 (振替東京六六二九) 全國各地の書店にあります◎

特別大附錄

七轉八起 開運出世双六

極彩色新聞二頁大

繪は本誌裝幀局…頗る美しい、殊外面白い…斯の如き大附錄…大奮發!是非御家庭に一…

賞金貳千余円 誰にも出來る大懸賞

賞金品
◎正金壹百圓 (一人) ◎…
◎正金壹百圓 (三人) ◎懷中時計 (七人)
◎正金五十圓 (三人) ◎安全剃刀 (三十人)
◎正金貳拾圓 (四人)
(詳細本號にあり)

二大讀物附錄

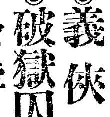
若手花形 名人名優 新年演藝娛樂大會

カッチ カッチ カッチ——柝が鳴つて幕が上ればこゝは大賑やかな「新年演藝娛樂大會」——講談あり、小說あり、落語あり、浪花節あり、女優ロマンス、演藝秘話、獨吟、手品など面白いこと面白いこと、役者の似顔繪や、美しい插繪、寫眞等をドッサリ入れて——老人、子供、男子、婦人、誰にも面白いこと限りなし。

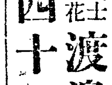
家中居ながらにして芝居も見られる、活動も見られる、寄席の氣分も味はへる。サア／＼大評判!大評判!

面白い／＼滅法面白い

明治大正 戀愛探偵任俠 事實物語



戀の立役者 伊藤公爵



戀の果報者 野津鎭之助

◎天晴れ日本一の戀 (野津侯の令息と知事令嬢の戀!艶麗天下一品……)
◎義俠の六千圓 (仁俠腹の川上子爵が窮鼠の仲間を助ける大快事……)
◎破獄囚大澤房次郎 (三度逃獄を企てた稀代の怪賊と其の苦心追捕譚……)
◎公爵寵愛の女 (馬賊の女頭領と伊藤公との一大秘話……)
◎武士の花 渡邊源右衛門 (維新の志士渡邊が美の爲に命を投出す壯烈談……)
◎四十三3613 (嘗井藤宮教師殺し犯人を手に汗握る探偵の活躍……)

株界一年の回顧（下）

京取を中心として

京取市場の花形株中に仁取のあることを見逃す事は出來ない本年中の株價は二月十七日の百二十一圓五十錢を高値に震災直後八十七圓を最安値とし同新株は二月十七日の五十圓を最高値に九月二十五日の二十七圓を最安値として相當活躍したのであるが三割利廻りの採算から見て建株中最も有利な地位にあるにも拘らず割合に人氣を集中せず動もすれば閑却せられんとするが如き傾きあるは如何なる事情に因る者か京城米豆取引所問題の擡頭し來れる爲めに人氣の離散したものでもあるまいし株數は手頃だし値頃も恰好だし今後或る時期には同問題を材料に一と相場が演ぜられるであらう安取株は仁取に比して其內容は遙かに劣つては居るが値頃の關係から寧ろ人氣は優つて居る樣に見へ從來相當に大波瀾を演じたのであるが現在會社が往時の思惑を試みて多額の抱株をして以來人氣が離散し其間種々なる問題が起つて不況裡に本年を終つたのは遺憾であるが同取引所は株は兎も角として銀市場が案外賑つて居るから將來京取市場の花形として仕手の策動を誘致するに至るだらうと思はれる

本年中の銀行株及朝鮮の事業株の狀況は一月新甫の株價に比して割合に騰落の波瀾が激しくないのは株式物の性質上斯くあるべき筈合であらうが一般に實質取引の極めて僅少なるは物足らぬ感がある併し是は朝鮮に於ける株式思想の發達が遲々たる現狀としては誠に無理からぬ事であつて東京大阪方面の人士の如く株式に對する理解の發達した處と同一に之を見るのは聊か不當ではあるまいかと思ふ何しろ朝鮮に株式思想の芽を出したのは併合以後と云つてもよいので僅に茲十年餘りの歷史を有するに過ぎない市場の設立から云へば僅に三年有餘に過ぎないのである此事業狀態銀行株の內で稍人氣が有つて取引せられたのは朝紡株であつて本年中の一ヶ月平均出來高が一千百株見當で三月の十九圓を高値に九月の七圓五十錢を安値とし昨今戾つて十圓擡みを唱へられて居た矢先不幸に先般の火災で前途悲觀から七圓內外見當に逆轉したのは厄難の結果とは云へ氣の毒に堪へない

以上は京取市場を中心とした大體の回顧に過ぎないが朝鮮唯一の取引所株（實質に於て）たる京取株に就て今少し具體的に述べると京取は本年新甫から二三月にかけては一般財界が漸次不況に陷られ行くにも拘らず京信合併の利益を見越して一月中には九日の四十六圓七十錢の安値から三十一日の五十二圓三十錢と擡げ二月に入つては更に好轉して二日の五十一圓九十錢から二十四日の高値六十三圓まで買はれ三月も五十八圓五十錢から六十二圓二十錢を往來して四月五月は下向ながらも尚四十五圓十錢を安値として相當の値を保合つて居たのであるが六月に入ると京取短期の廢止に代はるに週間取引が一ヶ月取引に延長されたけれども如何にしても短期取引の妙味を之で補ふと云ふ譯にならず出來高も次第に細り人氣も何時とはなしに離散した樣な次第であつた併しながら尚相當の取組は行はれて仕手の出動もあつたのであるが不幸六月九日に混戰狀態に陷り再び解合と云ふ事が持上り三十九圓まで買ひ叩いた賣方が兜を抜いで四十八圓の解値で解合ひ一段落を告げたが月末の總會で賣方の仕手は巧妙なる策戰を廻らして京取抱株の賣價評價を四十二圓に切下しめたので以來是が閊となつて次第に押はヂリ〳〵と押下られ八月には三十六圓三十錢と落ち込んで仕舞つたのである九月以後は震災の一般悲觀に壓せられて今日まで反撥せんとすれば閊が閊へて金槌の川流と同樣頭が上らず震災後大新が復興氣分にトン〳〵拍子に騰るのを他所に三十四五圓から上には伸力がなく春高を見越しながらも賣りも買ひも出來ない姿で人氣は京取から離れ大新の市場かと云ふ樣な觀を呈して居る實に時勢とは云ひながらあまり體裁の好いものではない

斯くして京取は大正十二年を終つたのであるが陰の極は陽で何時までも陰の方に傾くべきものではなく何時かは人氣が集中するであらうとは一般の期待してゐる所であるが扨大正十三年の京取は如何であるか

不味の原因たる抱株は總督府の許可を得て設立された證券金融會社に讓り渡を受けて經濟界の大勢に順應し三年計畫を以て場外で地方分散の實を擧げると云ふから閊は取れて頭押への材料は無くなるであらうし京取市場の受渡融通資金も銀方面から相當融通の途が付いて居ると云ふことであるし證券金融會社も何等かの方法で資金の供給融通を爲すであらうし京取短期も愈々新甫から復活することゝなつたのであるから何れを見ても相當強材料と見られ取引所の飛躍も春には何とか埒が明くことであらうと思はれるから十二年の京取が尺蠖の屈んで居た時代とすれば十三年は伸びる時代ではなからうか總ての氣配から見れば新春早々一と擡げする前提ではないかとも見られ何れにしても今後の京取は相當波瀾含みのやうに見られるのである（完）

京取短期上場

關係事項決定

一月新甫より上場する京取短期取引の順序日步決濟方法等左の如く決定した

一、上場期日　大正十三年一月四日

二、豫納金　建株五百株を超過したる新規賣買に對し本證據金の半額を徵收す

三、京取短期日步

株數	立替利率百圓に付	株數	立替利率百圓に付
二百	四錢	四千	五錢五厘
五百	四錢二厘	五千	六錢
一千	四錢四厘	六千	七錢
二千	四錢七厘	七千	八錢
三千	五錢		

但逆日步の場合は從前の通りとし計算の際は錢位は其の儘とし厘位は四捨五入のこと

四、京取株の立替假渡は長短取引を通じて七千株を限度とすると

五、割增證據金は一千五百株迄を定率とし以上五百株を增す毎に從來の例に依り割增徵收す

尚長期取引の當日渡內は京取短期上場と同時に之を廢止す

六、短期取引の決濟　毎月末に總決濟を爲すこと但し乘替の手數料は定率の『十分の一』とし休日の場合は前日に繰上ぐ

正米軟弱含み

春高氣分の濃厚なりし正米氣配も年末金融の關係上存外買氣振はざるのみか出來秋以來新穀出廻り遲れの年越だけに警戒前途に於ける各地の持米處分多かるべしとて茲聊か前途の成行きに危惧を抱き來れる模樣にて群山の如きも今二十九日の入電によると出廻り續いて兩々あり角チ三等二十九圓十錢處の見當を唱へ前日に比し二三十錢安とありて潛嚴筋も又一般に軟調の氣含みを唱へられ地場正米も自然下押しの氣味を帶び今朝は合格四等二十九圓摑み良上物にて二十六圓二三十錢神力二十五圓七八十錢在來種二十五圓二十錢を唱へ同じく二三十錢の下押し模樣を示し來れる尤も財界好轉への一般的には朝鮮鐵道の運賃低下と陸路運輸緩和の期待もあれば來春は擡頭の期待せる如く一本調子の高値は望み難いのみか政局動搖の折柄にもあり之れが如何により財界の影響より來る持米の處分急ぎを多からしめ或は逆に春高の裏を行くやも知れないと各自大に警戒の傾向がある

綿絲の前途觀

共益社　高井兵三郎氏談

綿絲の前途觀それは現在の處全く豫想は付かない恐らく何人も今後の成り行きに任す外はあるまい僕としても現在の所も分らん位であるから無論先の事は更に無定見である

▲棉は一般に本年收穫の發表は確實でなかつたため自然相場にも變動を來し從來二十八九錢處を至當とすべきものが現在三十七八錢見當へで全く人氣高の傾向を來して居るのであるこれは需用季節に漸增すると一方明年は米の大統領選擧に當りあるを以て大統領の監視として農民を買收する意思から棉相場を高くすると云ふ宣傳をしたため益々棉の強硬を維持する好材料となり今日に至つたのであるそれがため明年十月收穫すべき新棉に二十八錢の相場を附して居る如きは全く未曾有の事である尚

▲綿は今後需要一服と云ふ筋にあり輸出も中旬は上旬に比し著るしく減退し今月決算期を眺めて在荷も中旬に比し阪神に於て約七百俵增加を告げ一方生產は增加すると云ふ有樣を來して居るが之は內地共物の出廻り例年に比し一ヶ月遲延した爲め未だ需要旺盛季に入らず取引の不活潑に依るものであるが當業者の見る所では本月下旬より本月中旬にかけて最も活況を見るものとせられて居る所が時節年內も迫る所で茲に西日本前記の關係から總ての味を春に延はれた譯がある尚大勢は

▲綿糸の硬調を繼續するものとされ而も強氣大手筋が此の策略の中心であるから人氣と仕手から見るなら目のついた此の相場を一概に見縊つて了ふことは早計であるかも知れない斯くて人氣が年內の軟化鈍化は却て春高の素因を爲すと見做し寧ろ年末安を豫むかの振合がある然し春高を氣構へてもそれは時節の中の米棉の情勢と暗氣配の推移次第で決せらるのである

▲要するに十月以來棉の本位で波瀾を描き更に年末も棉の事情が強弱の中心となり尚又保合氣配も全然離の如何に依つて支配されてゐるは蓋し當然の成行きといふ外はない明年の財界は果してどんな變向を示すか此の形勢次第で綿糸も相にのみ捉はれることを許されないやうな現象を呈せずとも限らずさうなると綿絲は此の方面に在るのではあるまいか兎に角餘り變のない限り大暴落もなく著しい下落もなく常態として在る立場にあるといふてもよからう云々

在外正貨續減

【東京電報】大藏省發表＝十二月二十五日現在々外正貨在高は總額十六億七千萬圓にして前月三十日現在に比し五千三百萬圓を減少した

商品市況

本年末に於ける京城商品界の一般を觀察するに震災後著しく消費節約と實質本位の傾向を示して各商品界は一時に衰退し商狀閑散を來し一般商人は歲末を極度に憂慮し物仕入時期に震災に遭ひたるため先行不況を見越して仕入を手控へ爲に幾分か金融難より逃れたる觀あるも元來不況續きに手持品のカスレとなり歲末幾分か活況を見るため益々品不足を告ぐるに至り之れが補充も當分覺束なき現況にあるため自然商品界不況たらしめ各店共客足少なく一般の相場は二三割下落步調を辿り一部商品の外は尚下押しを豫想されて居るが內地に於ても品物豐富でない處から或は一齊に春高を見越して居るものもありて商品界迷宮の姿である

吳服類　は震災後著しく質素となり銘仙以上の品には稀に顧客ある位にして上物の人氣殆んどなく織物に比較的客足多き有樣があるが賣行も昨年より三四割減退し少數小口需要に過ぎず不況とは全く閑散裡に見送つて居る

洋雜貨　は比較的活況で客足も相當あるが舶來品より和製品の賣行良好を示し各店でも今後は價格低廉の和製品に著目せし如くて居るとの事であるが先づ本年末の商品界では本品界尤も良好の模樣である

千切大根（下落）賣行不良なると一時に入荷激增せる觀ありて下落に下落を重ね現物八圓七八十錢一月渡七圓七八十錢處を唱へて居る模樣で氣配尙軟弱である

凍豆腐（下押）賣行一段落の感ありて入荷續々あるか爲小倉物二十圓七八十錢野川物十四圓五十錢と一圓內外方下押した

乾物類　食用品の本品界は例年に見ない不況を眺めて居るが相場は一般に硬化して賣行も不振を示し只季節柄數の子昆布、干瓢の一時的賣行を示したのみにて何等擧ぐべき材料もない

綿糸布（高騰）三品大納會材料未著なるも內氣配強硬現物益々騰なり茲許現物薄の處買傷筋の買進みを見て一段高相場高騰市況稍々活氣を呈せり

粗布　三A二百九十八圓、九龍二百九十六圓、大A二百八十九圓、金剛山二百六十五圓、煙管二百四十二圓、白頭山二百五圓、長鼓二百五十圓、葉錢二百四十二圓

細布　飛犬（十三封度）十四圓三十錢、世樂島十三圓二十錢、晒金巾進軍十四圓、金鼎十三圓四十錢、綿糸扇面（十六封度）三百六圓、双女二百九十三圓、晒木綿竹一圓十七錢、椿一圓七十五錢

法人登記

財團法人大阪會（變更）大日資產總額並更ス資產總額圓拾六錢七厘參點藥物百貳千百拾五圓參橫山彥六、三

安岡晴見十林光道八各辭事ニ各就任ス拾六番地井上寺筆ケ崎町五木善太郎京都ケ止陸軍官吉西町兵器製造阪府北河內郡八番地長谷川右大正拾貳年

平壤

京城府告示第　來ル大正十三　テ新年御使　日午前十一時ヨ　於テ府民一般　但シ服裝ハ　若ハ相當服　大正十二年

商業登記

株式會社朝鮮　社債總額　金額貳萬五千　壹圓社債償還　貳年拾貳月拾　拾貳月壹日迄　千圓以上ヲ　貳月壹日ニ　ス各社債ニ付　右大正拾貳年　京城

商業登記

株式會社朝鮮　拾貳月貳拾　本町貳番地所　移轉シタリ　平安北道新　拾六番地　右大正拾貳年　京城地方法院

商業登記

株式會社朝鮮　拾貳月拾五日　面內里四〇　ノ所ニ移轉シ　成鏡南道北　九番地ノ六　右大正拾貳年　京城地方法院

商業登記

株式會社朝鮮　第參拾貳回社　一、社債ノ總額　一、各社債ノ金　一、社債ノ利　貳年拾貳月　年六月壹日　同貳萬五千　拾貳年拾　スルモノト　一、各社債

額　大正拾貳年　北青郡老德　店ヲ左ノ所ニ　成鏡南道北　番地ノ六　右大正拾貳年　全州地方

登記

大正十三年　安州、德川　州、中和、江　總ノ各順川、永　謀ノ各出張所　令ノ規定ニ依　京城府報ニ於　保甘中出張　及江西出張　發行スル　支廳及江西　テ發行スル　大正十二年

平

欠

識者は激賞し讀者は狂喜す 天下の人氣本誌に中す

現代 新年特大號 三大附録つき

見よ・堂々數巻の書籍に優る此の内容・趣味知識の寶庫成功の秘鍵

◇仲よく働け！笑って暮せ（協心戮力以て新時代の生活に努むべきの時、萬民必讀の一大金文字）……中島德藏

◇復興期の日本國民に告ぐ（句々句々深き同情より出でたる博士の痛言に深く味はふべき大文章）……シーエーピアード

◇田健次郎（幾度内閣の眞相をもて新しく田の生涯、興味深き政策の記なり）……淺山健堂

◇醫學界各方面人物月旦

◇社會時評……中村春二

圓琢磨（財界人物列傳）

名人達人秘傳公開

修養の根本！上達の捷徑！

◎劍道十三ケ條……（劍道）中山博道

◎五音曲條々……（謠曲）觀世元滋

◎天性發揚が第一……（俳優）尾上菊五郎

◎自戒十訓……（新劇）東儀鐵笛

◎自發的な修業……（義太夫）豐竹呂昇

◇福德圓滿長壽者生活振り（これ眞に長壽の秘訣！）

◇逆境に入れる政友會（政界縱横記）……獨石馬

◇火鉢を挾んで（滑稽諧謔奇想天外 博士漫談の湯談 漫文、天下一品！）……工學博士 伊東忠太

◇本年度（大正十三年）經濟界豫測……大瀧鞍馬

◇二大會社内幕解剖（研究道の大瀧氏が永い間の經驗と深い研究から生れた大豫斷、濟界の飜動は雅實明か）

鬼神も泣く社會美談！

◇最近の淺野セメント（震災後に於る二大會社の營業状態は如何？）

◇大阪商船王國の解剖

◇隱れたる神の如き人格者

◇苦學奮鬪青年辯護士成功傳

現代各方面八大家執筆 起て！奮へ！

◇此の際を期して改めたき事（現代各方面數十名士執筆）……

◇復興の歌（曲つき）

◇新興の氣漲る音樂界

◇福運を招ぶ手相人相

◇珍聞奇聞話の泉

◇愛と智慧……（三木露風）

◇財界八方睨み

◇政機明暗

◇推奬したい德望家

現代畫報 印刷鮮明

現代有名大家の筆になる原色版口繪、及び海外の珍品寫眞、趣味的風俗寫眞數十枚、何れも新美鮮明にして、新年號の一異彩である。

◇興味ある科學界新發明新發見……理學博士 若月安治

◇肺病患者の大福音（不治と悲觀する者…）……醫學士 岡村達

◇苦心の名畫三百點を燒き飄然母國日本を去った「天才畫家ケン・カトウ涙物語」……一記者

◇東亞共榮と支那の國民性……文學博士 幣原坦

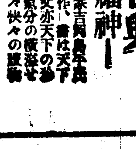
◇一途本然の使命に向つて……

◇最後の燐寸……本社主幹 野間清治

◇帝都復興は何處から……文學博士 三宅雪嶺

◇鎬を銷る足袋界の大商戰（積極的攻勢を取る「福助足袋」の武者振と正々堂々の陣を張る「つちや足袋」の戰略、この兩足が足で試合する如き大勝負、手に汗握る大商戰は眞に痛快）

「つちや」勝つか「福助」勝つか



帝都復興と七福神（漫畫家 …一品…）

◇百人百癖日比谷座評判記

◇頭をよくする姿勢

◇かうすれば家庭圓滿

◇情味豐な年末年始贈答品

◇子供に聞せる面白い話

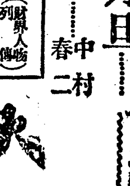
◇珍寫眞印度奇話

◇健康長壽の秘訣

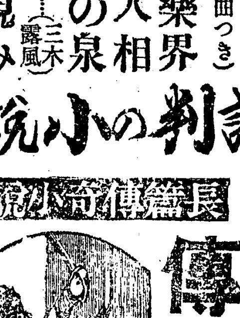
◇ことしのお正月（三大家合作漫畫小說）

◇世界活舞臺上の人々（世界活劇中の大立物を俎上に載せて峻烈なる刃を揮ふ）

大評判の小說と講談



長篇傳奇小說 傳令王（大野喜美夫譯）



蓋世の英雄にも千慮の一失はある。千古の英傑奈翁大帝敗戰の悲壯なる場面を描き、麾下の驍將チェラールが、かの有名な三角帽子を冠り身替りとなって幾度か死地を越えての大活躍を寫す。

◇長篇小說 恐怖時代（革命を呪ふ一青年の火を吐くが如き情炎！）……三上於菟吉

◇國民講談 軍神乃木（將軍の幼時より…を通しその超凡なる生涯を描く、普通讀物に非ず、實に國民必讀の大讀物）……上水九二翁

◇焦土に泣く（震災小說）……野村愛正

◇死の寶庫（大探偵小說）……紀潮雀

◇久米平内（大武勇講談）……小金井蘆洲

實業講談 若尾逸平（波瀾極まる其生涯は眞に立志成功の活模範、讀む者をして興起發奮せしむ）……大瀧鞍馬

賞金六千數百圓 誰にも出來る

附録第一「一句一章悉く金玉の大文字」名士文豪感動實話

廿七大家執筆

◇大震襲來當時に於ける攝政宮殿下……東宮職御用掛 二荒芳德

◇吁！フルベツキ先生……石川半山

◇感激の涙止めあへぬ母性愛……東京市社會教育課長 大迫元繁

◇日米親交を祈る少女の至誠……府立第五中學校長 伊藤長七

◇愛兒を亡つた悲しみも忘れ三崎町を救ふ……海軍中將 佐藤鐵太郎

◇萬里の異境に見る人情美……理學博士 日下部四郎太

◇逆境に益々發揮される酒井君の美德……辯護士 布施辰治

◇太古の風も偲ばる、大震後の人情美……高橋廣

◇向上と精進に生きる青年……日本基督教青年會主事 荒川哲次郎

◇命を的に夫を護つた祖母和歌子……子爵 三島章道

◇主人も偉いが女中さんも偉い……東京市學務課長 佐々木吉三郎

◇松浦先生……田山花袋

◇義に勇む鮮人……文學博士 谷本富

◇誠心の力……海軍中將 堀内信水

◇東郷元帥……子爵 小笠原長生

◇珍らしい開業醫……江原小彌太

◇美しい心根の女中……三宅やす子

◇人生のオアシス……副島八十六

◇泣かされた事……伊藤銀月

◇人情の花……留岡幸助

◇人情美の極……外語教授 兒玉花外

◇尊き武者振り……柴田猛猪

◇善行でん知らぬ顔……松村介石

◇同胞感……本間久雄

◇處女の如き人……白柳秀湖

◇一武士……西川光二郎

◇上草履……加藤武雄

大懸賞募集

誰方にも直ぐ出來ます。當選者は實に數千名、賞品は何れも莫大…空前の大募集、詳細本號を！

附録第二「見逃す勿れ！各種職業」成功虎の巻

◇必ず成功する奇拔なる廣告術……升闘十二郎

◇南阿貿易の元祖 古谷駒平苦心談

◇勤め人から俄か商人となつた私の血と汗の經驗談

◇一少女に壹萬圓を支給するバテー會社々員待遇法

◇小都會で全國相手の大取引き

◇小資本で出來る各種副業案内（誰にも出來る一寸した副業で意外な利益、親切丁寧な副業案内いろいろ）

◇押すな押すなの大繁昌商店經營振り（朝から晩迄黑山の如き客がタカつて繁昌する店の取る商賣の秘訣は此の妙策）

◇悉く客足を止める最新販賣法（斬新奇拔な廣告術を應用した販賣法、奇想天外繁昌疑なし）

◇農作物增收の實驗（下手な田作りせぬか、同じ田から收穫如何）

◇コップ酒の元祖若松屋の大繁昌

◇非常に繁昌する特殊販賣の實例

◇各種職業成功の秘訣

◎これは驚く各種職業收入しらべ

◇非常に客を呼ぶマーケツト式販賣法

◎繁昌神樣

▼教育家成功の秘訣、▼新聞記者成功の秘訣、▼こんな出世の早道、▼こういふ人間は必ず成功する

◇運命開拓立志成功の活模範

◇最も確實で有利な株式利殖法

◇素人に出來るメリヤス製造販賣業……大倉敏夫

◇震災後俄かに有望となり頗る利益多い……

附録第三 戀・名・金・天晴れ「譽の大場面」

◇フランスが生んだ美しき花「タリアンの戀」（血腥き革命裡に交す若き英雄の美しくも哀しき戀物語）……貴志四州

◇伊藤、山縣、大隈が、結ぶの神「公爵夫人になる迄」（世にも奇しき結婚ロマンス、數奇流轉の生涯より公爵夫人となりし女は誰？）……松井郷人

◇庄右衞門兄弟（圓熟しきつた筆で得意の題材を描く、一讀三嘆實に文壇稀有の一大收穫）……岡本綺堂

◇涙に輝く曙の色（親は仇子は戀人、果敢なき接吻はやがて果敢なき戀の破滅、哀切悲壯の名作）……石川星影

◇戀の血吹雪お六櫛の由來（吹雪昏る夜に相抱いて泣く若き男女の運命は如何に？怪奇なる傳說物語）……國枝史郎

◇憶ひ駕籠（吉原第一の傾城を爭ふ稀代の戀 男が命がけの戀の行末）……額田六福

◇正月十三日（名も奇、行も奇、而も此の男案外の戀の巧者とは）……井上劍花坊

◇譽の繪筆（眞實盡す妻の誠に次第に上る波山の繪筆、貧者得意の出世美談）……筑波四郎

◇南洋の孤島に漂流して「戀と榮冠を得た日本青年」（風濤の椰子の葉蔭にときめく胸と胸とを抱き合ふ美しき男女に絡る漂流奇譚）……伊達乃武雄

◇情熱詩人バイロンの戀……本間愛二

◇輝く青春（詩）……土井晩翠

◇大爆然す勇士と佳人……鈴木清翠

◎本號に限り金壹圓五十錢（郵税五錢）

東京市本郷區駒込坂下町 大日本雄辯會 發行（振替口座東京三九三〇番）

本誌は全國各地の書店にあり・速にお求を乞ふ

京城日報

號外

大正十二年十二月卅日

攝政宮平田子に御下問

平田子松園兩公を訪問せん

此上首相に對し留任の優諚降下せざらん

【東京電報】攝政宮殿下は二十九日午後平田內大臣に對し後繼內閣に就て御下問あらせられ之に對し平田內大臣は別室に控へたる清浦樞相と協議を重ねたる上何事か奉答するところがあつた其結果內大臣は三十日西園寺、松方兩公を訪ふ筈なるが山本首相に對しては此の上重ねて留任の優諚を賜はる事なかるべしと仄聞す

しないと云々

宮相辭職說

【東京電報】牧野宮相は辭職すべしとの說がある而し確かではない

宮尾總裁

‖就任挨拶‖ 川上大見兩理事辭表提出

【東京支局特電】宮尾新東拓總裁は十二月二十九日午前十一時東拓本社樓上にて、石塚前總裁より事務の引繼ぎを受けたる後社員全部を階上會議室に集め「自分は今回東拓總裁として就任することゝなつたがこれまでの自分の經路は全く石塚君と同一の樣に思はれる而して更に石塚君の後を襲ふに至つた事は面白い緣故であるどうか石塚君同樣宜しく頼む」との挨拶を述べた尙理事川上常郎大見二郎の兩氏は二十七日辭表を提出したるを以て辭任することゝなるべし

中間內閣組織か

元老の意嚮は今一度

【東京電報】後繼內閣候補者としては清浦樞相子が最も有力であるけれども子が果して出馬するや否や頗る疑問とされてゐる此外貴族院方面では齋藤實男を推す者がある尙加藤高明子、高橋是清子も勿論有力な候補者に相違なきも今日の場合元老の意圖ては政黨內閣より今一度中間內閣に依つて此政局を收拾する方針であると

後繼內閣下馬評

【東京電報】諸情報を綜合するに左の如し

一、清浦內閣　これは最も評判高いが恐らく樞相の位置を捨て出馬することはあるまい

一、德川內閣　貴族院內閣即ち大將內閣の主班として德川議長を推さうとする說があるが公は上院議長を引退の潮時として決心するかも知れぬ

一、政研聯立內閣　これは餘程實現性を帶び之れならば政界は最も安定する譯であらう

一、憲政會內閣　これは疑問とされてゐるが九ケ年間逆境にあつた憲政會に對し元老も多少の同情を持つてゐるだらうが元老は最も解散を厭ふてゐるから之れも危ぶまれる

時代錯誤を夢見る樣な老硃はまだしないと

清浦樞相語る

【東京電報】清浦樞相は宮中より各宮家に歲末御挨拶の爲め二十九日午後九時二十分大森驛發下京の途中左の如く語る「今朝の新聞は未だ見ないが子供から聞くと自分が出馬するであらうと云ふ樣な事が出てゐるそうであるが、それは明かに申して置く、自分は絕對に出る樣なことはない、大正十三年に七十五歲になる樣な老人をかついで變な內閣を組織せなければならぬ樣な時代ではない自分はそんな時代錯誤を夢みる樣な老硃は未だ

齋藤內閣說

研究政友を背景とせる

但し男は起つまい

【東京電報】清浦樞相は絕對に蹶起しないと言ふことを自から言明してゐるので清浦內閣說は消滅した譯であるが別に貴族院では齋藤內閣の出現を豫想してゐるものがある即ち齋藤男を總理とし研究政友の兩派を背景として內閣を組織せしむると云ふ一種の聯立內閣說であるが齋藤男は恐らく今日蹶起するの意はあるまいと推されてゐる

齋藤男ならば適任

上院にも政友會にもよし

勝田主計氏語る

【東京電報】政友會は齋藤總裁に力の足らぬ處があるから兵變へは行くまい清浦子が一番適任と思ふが併し清浦子は出まい清浦子が出なければ先づ齋藤男だと思ふ齋藤男は政友會に良く上院にも良いから男が政友會を背景として出れば時局は收拾が出來る此際先づ齋藤男を出すことだ

『又例の新聞辭令かね』と

齋藤總督語る

齋藤總督後繼內閣說の東京電報を示すと齋藤總督は「ハア……又例の新聞辭令かね」政變に兆合ひに出されるね」と破顏一笑して語る今年度豫算審議中で既に御裁可を仰ぐ前にしての總督が何で京城を離れ[illegible]

不敬事件に關し

責任者は最も重きに

依て處斷されん

【東京電報】不敬事件に關し[illegible]責任者は總て最も重きに依て處斷さるべき[illegible]

一番時際の政局を安定せしめ得るかが考へねばならぬ[illegible]りはどうかね年も我等と同年た[illegible]清浦子なし[illegible]……何に[illegible]

とり遊びてあると云ふのかね[illegible]ふ持ちがないではないか我等[illegible]は二六十年から耳が遠くドラ[illegible]よく聞えるが[illegible]聞きにくいアノく

懲戒委員會

【東京電報】[illegible]

如何なる責任をも負はん

事件は絕對的なもの

後藤子語る

【東京電報】[illegible]

河野廣中翁逝く

【東京電報】河野廣中翁は二十九日朝六時逝去した

を[illegible]した[illegible]ある[illegible]務を執るとの御說であつたそうで[illegible]する今回の事件は絕對的のもので[illegible]はない自分は責任を負ふつもりで[illegible]加何なる責任を負ふつもりで[illegible]倫理上の問題として考慮せねばならぬ

朝鐵の紛擾は

朝鮮事業界の不祥事

但安協案は成る

釜山にて 政務總監談

【釜山支局特電】李王世子殿下と御同件三十日朝釜山着[illegible]政務總監は船中にて語る「朝鐵の[illegible]の紛擾に就いて[illegible]之れまで發表した以上の發表はまだその時期に達しない[illegible]

妃殿下御同件

王世子御歸鮮

今朝釜山に御上陸

直に京城に向はる

李王世子殿下には同妃殿下と御同伴にて下關まで出迎へた篠田次官、隨行の金武官高事務官等を隨へられ三十日午前八時[illegible]

不敬事件を御心痛

何のお障りもないと聽かれて

御旅程を續けられた

[illegible]

後藤內相へ勸告狀

赤化防止團長から

[illegible]（東京電報）

御警備の協議

宮內省で開催

[illegible]（東京電報）

難波氏は

面會謝絕

[illegible]

門司驛の火事

損害は大きい

[illegible]

信越線に大降雪

列車運轉不能

[illegible]

清水鐵道往生

[illegible]

猪股敎授出獄

[illegible]

飛行船には生存者ある見込

陸軍救助に急行

[illegible]

少女誘拐團が來た

三十日朝入城の汽車で

[illegible]

發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川[illegible]

◎ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈澱をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分泌量多くして而も粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼

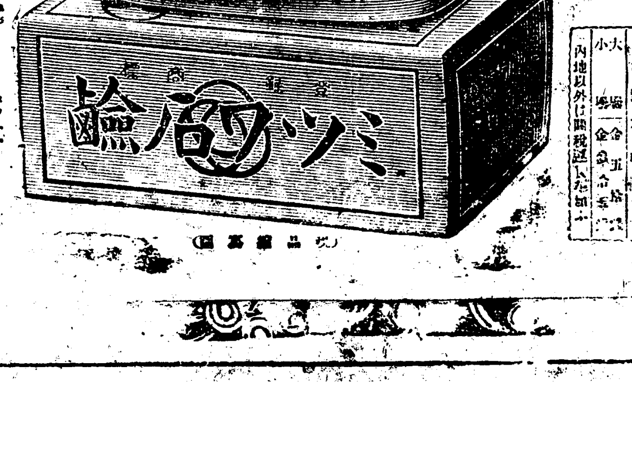
は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適ひ經濟に合する、理想的實用品なり。



種類	
大形	金[illegible]
中形	金[illegible]
小形	金[illegible]
極小形	金[illegible]
卵形四十	[illegible]
浴用	[illegible]
三十番	[illegible]
フローラ	[illegible]
水製石鹼	[illegible]
大	金[illegible]
小	金[illegible]

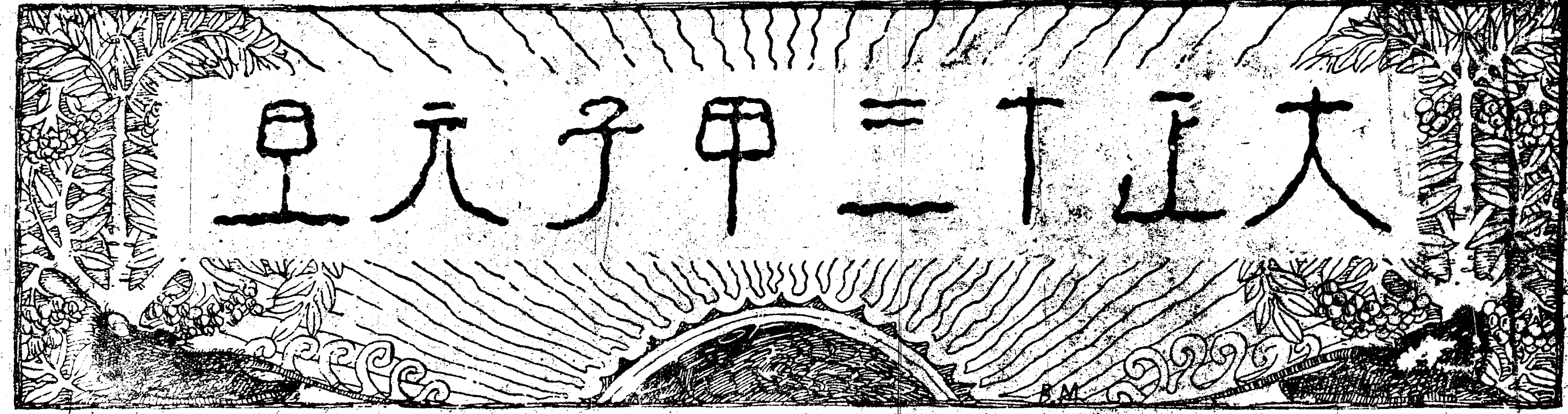
內地以外は[illegible]

◎ミツワ石鹼大形は 三個函入 一打函入 の二種あり何れも同じ値段に提供仕候

ミツワ家庭藥
ミツワ齒磨
肝油ドロップ
ミツワ人參葡萄酒
ミツワポートワイン
ミツワ[illegible]化粧品

東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑・滋養品・石鹼・香粧品・小間物問屋
丸見屋商店
營業所 東京市下谷區二長町
振替貯金口座東京七一〇番

京城日報



年頭辭

茲に大正十三年の元旦を迎へ、謹んで上皇室の彌榮を祝し奉り、下七千萬國民亦其の慶に頼り康寧を新歳に樂しむの多幸を祝す。

歳序改まるの時、人心亦新なるは何人も齊しく體驗せる所である。多事多難であつた昨十二年は人心の倦怠甚だしく、綱紀日に益々弛緩の兆があり、識者の憂慮措く能はざる狀態であつたが、關東地方に於ける大震災は、其れが未曾有の慘禍を齎した爲め、國内隅々まで非常なる刺激を與へ、人心幾分の緊張を見し國民は聲を合せて『復興』を叫むだ。斯くて歳を送り新を迎へたのである。

今年に於ける第一の事業は復興である。其れは帝都の復興もある。更に吾人は、世道の保維、人心の振作、綱紀の肅正を意味する社會恒常の復興を以て之に加へたいのである。而して先づ帝都の復興に關しては、第四十七回帝國議會に於て、既に其輪廓を描き了へたのであるが、之が實施に當つては、無論幾多の難關がある。次に經濟的復興なる名辭は、萬口齊しく唱和すれども、其方途としては、未だ天下の承認するやうな良案がないやうである。是亦國民の前途に横はる難關である。若夫れ社會恒常の復興に至つては、其墮落弛緩の原因が深遠であり且複雜である爲に、難中の難事たるを感ぜしむるものがある。蓋し帝都の復興を企圖する時に擧國一致の協力は、其基本的條件であつた。經濟的復興の方途も亦擧國一致の努力を前提としなければならぬ。然り而して擧國一致の基準は、之を果して何れに求むべきやといふに、其は社會の恒常其のものに依據する外はないのである。故に之が復興は難中の難事たると共に、急務中の急務であらねばならぬ。如今世道の澆漓、人心の倦怠、綱紀の弛緩其の極に達し、結局社會の恒常が殆と失はれて居るとも謂ふべき狀態に在るのは、國家の爲に、實に寒心に堪へざる次第である。されば今年に於て少くとも社會の恒常を復興すべく全力を注がなければならぬ。其成否は國民各個の『心一つ』で決定することである。唯『心一つ』で決定することであるがゆゑに、最も容易であるやうであつて、反つて最も困難なる所以の理は、今更數々するまでもないのである。

我等國民は、是等復興といふ難事を負荷しつゝ新歳を迎へたのである。本來ならば佳言麗句を羅ねて此日を祝賀するの例であるが、難關未だ除かれず、吾人は聊か詔書に示されたる所の聖旨に恐懼する餘り、敢て陋例を破つて復興の第一義を說き、相戒めて以て我等國民の重責を果さんと欲するのである。

國家的實力の涵養
復興第一の新年に際して

朝鮮總督 男爵 齋藤實

茲に大正十三年の新春を迎へ、官民相共に無恙を樂しむことを得るのは誠に欣慶の至りである。本年は七千萬同胞の齊しく待ちに待ち奉つた皇太子殿下久邇宮良子女王殿下の御成婚の盛儀を執り行はせらるゝ佳辰の御治定を見るの年であるから、上下いづれも歡喜の色を浮べ一段の和氣が乾坤に漲るを感じ、太平の瑞が有らゆる方面に表現されつゝありて、洵に目出度き事の極みである。

輓近國際聯盟各國との國際關係は益々親厚の度を加へ、世界文化の發達に力を效し、共存共榮の精神が發揮され、人類相愛の理想が實現さるゝの傾向に在るを看取して轉た欣快に堪へぬが、混亂の大目的を達成せんが爲には、經濟的條件、國家的實力の涵養を第一義と爲さなければならないのである。

抑も我國民は祖先以來團體の統一に由り、三千載累積の力は、各方面に優秀性を發揮し國民の意氣を顯示しつゝあるのであるが、翻り經濟の點に於て一籌を列強に輸するの觀無きに非ざるは、誠に遺憾の極みである。しかし之れに付いては國民が夙に警醒し、翻つて奢侈浮華を戒め、忠實業に服し、勤儉貯蓄を治め、其實力の養成に邁進したならば、日ならずして國民經濟の基礎を一層鞏固にし、其生活を安定するにあらずんば、敢て難しとせぬ所である。又戰後世界に發生した政治の新思想の本邦に對する影響も漸く甚だしく、往々危險思想の傾向を呈するに至つたけれども、夫々之が取締や善導の方法も講ぜられ、且古來各種の思想の國外より入りたる例もあり、殊に畏れ多くも先帝陛下が維新の劈頭に、廣く知識を世界に求め大に皇基を振起すべしと仰せられ、開國進取を國是とし、偏狹固陋の態度を去つて訓練された國民であるから、大局に於て歸趨を誤るやうの事は萬々有るまいと信ずるのであるが、人心久うして倦むは數の免れざる所である。就ては昨秋渙發せられた詔書の御趣旨を奉體して國民精神の振起作興を圖り、戰に殆弱に傾するを以て滿足せず、進みて大に世界人文の伸展に寄與するの積極的覺悟を養さなければならぬのである。

續いて朝鮮に在りては、本府始政以來十有四年、一視同仁の聖旨に由り、爾來庶政の改善に努め、民衆は其堵に安んじ、其業を勵みつゝあり、民度に於ても文化に於ても、年と共に進歩を認めらるゝに至つたのであるが、國境外に於ける一部不逞の徒の不穩の計劃は未だ全く跡を絕たず、關係諸官憲をして常に警戒を怠らしむるの遺憾がある。しかし大勢は日に月に改善の方向を辿りつゝあるに依り、今後此の方面の鎭静と治安の上にも攻究の歩を進むるに至るであらうと思惟するのである。

地方制度は大正九年の改正に際し、民意の暢達を圖る爲め、新に道評議會を設け、之をして將來完全なる地方自治の域に達せしむるの訓練として、右に必要なる訓練を施すの機關たらしめ、以て今日に至つたのであり、本春は第二回の選舉を行ふのであるが、在鮮華族の起用に努め、其圓滿なる發達を期し、歩一歩理想に達せしむる樣、官民共に十分の努力を希望して已まない。

次に緊要なる事業は、元來朝鮮の重大なるものゝ一つであるが、殖産事業に於ける施設は漸く見るべきものあるに至り、殊に本年は京城に大學を設くる準備として、大學の豫科を開設するのであるから、將來の朝鮮文化を向上する上の計畫に邁進するのであつて、人材の輩出する日の來るのが甚だ遠くないのである。

朝鮮に於ける教育は、本府創設以來異常なる發達を遂げたけれども、今後發展の一途に進むのであるから、之が施設は國家財政の許す限り積極的に力を致す考へであるが、財政の許す範圍に於ては、之と共に國民生活の内容充實を計る事に努めねばならぬ。官民協力、一層の效果を收めたいものである。根本的治水問題は多年の懸案であつて、大正十三年度着手の豫定であつたが、關東地方大震災の影響よりして一時中止の已むなきに至つたことは甚だ遺憾とする所であるが、之れに付いては其實行の一日も速かならんことに努むる考へである。政府の財政緊縮方針に基き、本年度豫算に於ても公私打算の已むを得ざる所から、産業の振興上稍々遲滯なきを期し、中央政府と協議して居る。

今や實業界の不況と財界の沈滯とに鑑み、官民共に克く時勢を覺り、一層の勤勉と節約とを以て、國家的實力の涵養に努めんことを望むものである。

齋藤總督試筆

春其聖恩長

大正甲子元旦為京城日報新年號　皋水　齋

協同一致を望む

政務總監　有吉忠一

我日本の建國の理想は洵に宏遠であつて、所謂八紘を掩ひて宇となすに在る、即ち世界の全人類をして各其處を得しむるに存するのであつて此の國史の成迹は只管これが實現を示すものたるに外ならぬのである。殊に明治維新以後、國運國力の伸展は異常なるもので、其長足の進歩は各國の齊しく驚嘆する所であつた。然るに國運の隆昌は、兎角民心の驕慢を伴ひ易く、輕佻より遊惰せる驕奢の風が漸く瀰漫し、動もすれば輕佻浮華の弊を醸さんとするの傾向があり、識者をして窃かに憂慮せしむるの狀態であつた。斯かる折柄、彼の關東地方の大震災が起り、數萬の人命を失ひ、帝都の文明的施設の大半を破壞され、其損害の至鉅なること、蓋し驚古の事實であらうと言はれて居る。此の慘禍は一面に於て弛緩せる國民の精神に一大衝戟を與へ、一大警醒を促したことは勿論で、恐くも聖上に於かせられては、此の國家非常の時機に當りて、深く御軫念あらせられ、昨冬精神作興に關する詔書を煥發せられ、國民の嚮ふ所を諭へたまはつたのは、寔に恐懼感激に堪へぬ次第である。由來國民の氣風は、國家の盛衰興亡に關すること申すまでも無い事である。今や我國民は一大試練の時機に際會し、宜しく大詔の聖旨を奉體し、民力を涵養して國運の發展を策し、其本來の面目を發揮せねばならぬ。國民協同一致、質實剛健の氣風を振作し、奮勵努力すべき時であらねばならない。

前段の氣風振作と共に、最も緊急の要務は、經濟復興の點である。顧みれば歐洲の大戰は世界の有らゆる方面に非常なる變動を齎し、殊に經濟方面に於ては、その影響が最も甚だしく、戰後五年を經過せる今日、世界は尚不安の狀態に在り、各國共に之が回復を策さんとして手に手を盡して居るけれども、未だ容易に恢復の機會が到來せず、此の新年を迎ふるに際し、轉た感慨に堪へざるものがある。

天皇陛下には御内帑を降し給ひ、特に再度の聖詔を賜ひたるは、國民の等しく感激恐懼する所である。政府は夙に聖旨に基き、帝都復興に關する計畫は勿論、經濟の恢復に、國民精神の振作に、更始一新の大策を確立して國民の自覺を促し、現下の弊風を一掃し、國民精神をして彌々剛健ならしめ、相率ゐて文物の恢復と國力の振興とに邁進し、只管聖慮に副ひ奉らんことを期しつゝあるのである。吾人國民たる者は、深く聖旨に鑒み、政府の意を體し、我國民道徳の大本たる忠孝の思想を基礎とし、國情と相容れざる過激詭激なる外來思想は絕對に之を排け、益々協力一致、奮勵努力、公の精神を盛にし、官民親しく互に奢侈を戒め冗費を節し、努めて經濟上の實力を養ひ、進んで産業の伸暢に力を致し、國家の進運に資する事を以て努むべきは言を俟たざる所である。

顧つて我朝鮮を顧みるに、客歲西鮮の一部に洪水の災害があつて、御軫念を悩まし奉りたることもあつたが、他面に於て内鮮人の融和、産業經濟の更新進展、教育の更新進展等、何れも順調裡に成功を以て終りを告げたる如き、其著しき表徵である。震災後一時諸種の事の行はれたることなきにあらざるも、官民協同一致、之が實現に努力して聖旨に副ひ奉らむことを期して止まざるものである。

本年に於ける鐵道建設（上）

鐵道部長　弓削幸太郎

明治三十二年京仁間に初めて汽車の運轉を見たる年より數ふれば、本年は其第二十六年を迎へたのであるが、此の二十五年の間に、官民當事者努力の結果、鐵道は年々絕えず線路を各地に延長して十二年末に於ける營業哩數は國有鐵道一千百八十九哩、私設鐵道三百三十三哩五分合計一千五百二十二哩五分に達することとなつた。

新政布かれて以來飛躍の施政は、善政せられ、文化の普及産業の開發は長足の進歩を遂げ、半島の山河は著しく面目を革むるに至つたが、鐵道の事業か此の邦土の開拓に大なる貢獻を爲したることは云ふ迄もなきところであつて、朝鮮の統治と開發とに對して鐵道が依然として重要の意義を有し興國の事業たることは年を閲するも毫も變らないのである。

○

世界戰爭後本邦經濟界は未だその安定を得ざるに突如として昨秋關東地方に於いて大震災の發生するあり、帝都並に附近の被害は數十億圓に達すると稱せられ、災禍の大なる我國有史以來未曾有と見ざる所で、之が爲に財界に受くる影響は甚大であつて、之れに對しては新規事業の中止繰延を餘儀なくせらるる公債募集の打切を餘儀なくせらるるに至つた。朝鮮に於ける鐵道事業に對する影響としても直に公債事業たる國有鐵道建設改良費の緊縮となつて現れむとしつゝあるのであつて、その十三年度に於ける投資額は前數箇年に比して減額の止むなきこととなつたが

○

しかし其額は十二年度より五百萬圓を減じて一千萬圓と爲すべき豫定であるから、大正八年度以降年々の投資額たる一千五百萬圓乃至二千萬圓に比しては少額であるが、然し緊縮の折柄にも拘らず斯る額の支出を見むとすることは大に朝鮮に於ける鐵道の必要なることを認められた結果に外ならぬと思ふ。併し此の減額の爲には既に着手せる工事の中止若くば工程の延期を餘儀なくせざるを得ないこととなり、延いては地方經濟にも幾分の打擊を與ふることゝなるは甚だ遺憾であるが、是亦止むを得ざる結果と諦めねばならぬ。

「更始一新」てふ言葉を復興促進のモツトーに

京畿道知事　時實秋穗

全世界を震駭せしめた帝都の未曾有の大震火災は、想起するさへ戰慄を禁ずる能はざる所であつて、此震災後第一の新年を迎へ、之を全鮮より見るとき、此の時に於て更始一新の氣を振作し、大に堅實なる思想と健實なる態度とを以て國民精神の更新振作を計ることは、最も急務であると思ふ。

更始一新の言葉は、常に以て帝國復興促進上の標語たるに止めず、國家社會の精神的、物質的更新、又此基調に立脚して擧國一致の大事業に努力すべき一新紀元を表はす標語としたいものである。

新年の劈頭は平素に於ても更に一新の氣を必要とするものであるが、況や非常災後の今年の新年に於ては、特に其感を深くせざるを得ぬ。吾人は此の機會に於て、特に全鮮一千七百萬の同胞と共に、希望に滿ちたる元氣と、健實なる思想と堅實なる態度とを以て、國民精神の更新振作に努めたい。

剛健なる國民精神
其れを失ふはお互の一大恥辱

京城府尹　谷多喜磨

世界を通つてゐるものも多しと雖も、未だ我が帝國の如く國體の確立せる國家なく、興亡常なく革命相續く現狀である。例へば埃及、バビロンの如き、印度や羅馬の如き、何れも一時は燦然たる文化を有したが何時しか興亡し、又或は獨逸帝國の如き露國の如き一時は世界に號令せんとするの勢ありしも、今は殆ど見る影もなく、共和國たるに過ぎないものとなつた。然るに獨り我帝國は此の間に屹立して天壤無窮の皇位を戴き、建國以來既に三千年の星霜を閲し、未だ嘗て他の各國に見るが如き慘憺たる革命もなく、また外敵の爲に尺寸の土地を失ひたることもなく、實に金甌無缺の國體を以て尚益々國運の隆昌を見んとして居る。

斯の如き狀態にあつた故に日本國民自身にも日本國民たる自覺があり、日本國は萬世一系の天皇を戴く神洲なりと言ふ信仰心を起し、國民的觀念を涵養し、此の信仰と此の觀念とは年を經るに從ひ益々確固となり、遂に剛健なる國民精神の中樞をなすに至つたのである。

日本民族は斯の如くして獨自なる國民的觀念を養成したのみならず、外來のあらゆる文明を消化して、却つて何れの地にも見る能はざる文明を形成した。漢字を輸入しては之れを自家のものとなしたるのみならず、漢字に假名を交へ、其固有の語音文字との調和を計り、日本民族固有の文明と支那の文明とを全く融和混淆せしむるに至つたのである。更に佛教渡來に逢ふては神道と佛教との調和を策して本地垂迹の說を立て、天照大神と大日如來の合體たる奈良の大佛を建立し、實に我國の如くして至る所神佛の混在を見るに至つた。更に下つては基督教の渡來となり、近世的文明の輸入となり、僅に五六十年の間に東西兩洋の文明は日本に於て渾然と調和し了りたるものと言ふ事が出來るであらう。

吾人は斯く歷史的に日本國民の發展を遍觀し、日本民族文化の發達を通觀する時に、吾人の祖先は三千年の間いやが上にも國體の尊嚴を増し、國土を守り、外敵を排撃し、あらゆる思想に接して毅然として之れを調和し、總ての文明に適應せしめて之を咀嚼し得たのは、實に剛健なる國民精神の一貫して今日に至らしめたるものであると思ふ。若し我々の時代となりて此の精神を失ふことあらば、實に我々の恥辱であると思ふ。復興の新思想の勃興未だ定まらざる新年、震災の後日本未だ淺きに際して我剛健なる國民精神を振ひ國運の隆昌に盡す事が我々國民の務である。

醒と働とに徹すべき歳

總督府秘書官　松村松盛

我醒めず、我働かず、安んぞ人生の面目を發揮するを得んや。我一國を興すを得んや。一に醒め、二に働く。個人として自己に、家族に、社會に、國家に奉仕する所以の道は唯之れ。公人として、公共團體に、國家に奉公する所以の道は唯之れ。醒めよ、働けよ。之れ新年頭の辭也。

醒めて働かざる者、醒めずして働く者を督促して醒めしむるに努め、醒めて働かざる者あり、其罪を責めずんばあらず。

働く者を督促して醒めしむるに努めて働かざるもの、働かざる者に働くを督促して醒めしむる。我醒めて働き、人をして醒めしむる、政治家の任務也。之を遂行するは民衆の醒と働とにあり。

[illegible]